

# OpenBlocks IoT Family向け WEB UIセットアップガイド



Ver.2.1.1

ぷらっとホーム株式会社

#### ■ 商標について

- Linux は、Linus Torvalds 氏の米国およびその他の国における商標あるいは登録商標です。
- Firefox は、Mozilla Foundationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Google Chrome は、Google Inc. の登録商標です。
- Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登 録商標または商標です。
- NTT ドコモは日本電信電話株式会社の登録商標です。
- SoftBank およびソフトバンクの名称、ロゴは、日本国およびその他の国におけるソフトバンクグループ株式会社の登録商標または商標です。
- au(KDDI)は KDDI 株式会社の登録商標または商標です。
- 文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。
- その他記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

#### ■ 使用にあたって

- ・ 本書の内容の一部または全部を、無断で転載することはご遠慮ください。
- ・ 本書の内容は予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については正確を期するように努めていますが、記載の誤りなどにご指摘が ございましたら弊社サポート窓口へご連絡ください。
   また、弊社公開のWEBサイトにより本書の最新版をダウンロードすることが可能です。
- 本装置の使用にあたっては、生命に関わる危険性のある分野での利用を前提とされていないことを予めご了承ください。
- その他、本装置の運用結果における損害や逸失利益の請求につきましては、上記にかか わらずいかなる責任も負いかねますので予めご了承ください。

### 目次

第1章 はじめに	
1-1. VX1 向けパッケージ内容	
1-2. 各部の名称(VX1 本体)	7
1-3. BX1 向けパッケージ内容	
1-4. 各部の名称(BX1 本体)	
1-5. BX3 向けパッケージ内容	
1-6. 各部の名称(BX3 本体)	
1-5. EX1 向けパッケージ内容	
1-7. 各部の名称(EX1 本体)	
1-8. BX0 向けパッケージ内容	
1-9. 各部の名称(BX0 本体)	
1-10. BX3L 向けパッケージ内容	
1-11. 各部の名称(BX3L 本体)	
1-12. BX5 向けパッケージ内容	
1-13. 各部の名称(BX5 本体)	
1-14. ステータスインジケーター	
1-15. 放熱・設置ブラケット取付プ	ī法
第2章 ご利用の前に	
2-1. SIM について	
2-2. OpenBlocks IoT Family の設	置
2-3. WEB クライアントの準備	
第3章 WEB UI の初期基本設定	
3-1. 使用許諾画面	
3-2. 管理者アカウント(WEB UI Ø	)管理者アカウント)設定 33
3-3. ネットワーク設定画面	
3-3-1. モバイルルーター構成	
3-3-2. サーバ構成	
3-3-3. WLAN AP モードの詳細設5	E(CH 設定と国際対応) 42
3-4. 内部時計設定	
3-5. システム再起動による設定項	目の反映
3-6. 管理者ログイン画面	
3-7. ダッシュボード画面	
第4章 SMS コントロール	
4-1. SMS コントロールの起動設定	

	4-2. SMS コントロールのコマンド	. 48
	4-3. SMS での複数コマンド送信	. 48
	4 <sup>-</sup> 4. SMS ユーザ定義スクリプトの登録	. 49
	4-5. SMS コントロールコマンドのダイレクト実行	. 50
爭	5 章 BT デバイス関連	. 51
	5-1. BT サービスの起動	52
	5-2. BT デバイスとのペアリング	. 55
	5-3. 登録デバイスとの Memo 編集	. 56
	5-4. データ収集設定	56
	5-5. PD Exchange とアプリケーション、デバイス紐付け	. 57
	5-6. 収集ログ確認	. 58
	5-7. センサーデータ確認	. 59
	5-8. BLE デバイスの設定情報をエクスポート/インポート	. 60
甮	36章 シリアル通信リダイレクト機能	. 62
	6-1. SPP デバイスのシリアル通信リダイレクト機能	62
	6-2. RS-232C シリアル通信リダイレクト機能	. 66
爭	37章 AirManage 機能	. 67
	7-1. AirManage 初回アクセス設定	. 67
甮	<b>38章 設定項目別リファレンス</b>	. 69
	8-1. サービス制御・拡張機能の表示/非表示	. 69
	8-2. プロセス状況表示機能	. 69
	8-3. ストレージアラート機能	. 70
	8-4. root パスワードの設定	. 71
	8-5. フィルター許可	. 72
	8-6. SSH の鍵交換	. 73
	8-7. WEB 管理者パスワード変更	. 75
	8-8. WEB ユーザー	. 75
	8-9. ファイル管理	. 76
	8-10. ソフトウェアライセンスの表示	. 77
	8-11. 本体シリアルの確認	. 78
	8-12. ダイナミック DNS	. 79
	8-13. 静的ルーティングの追加	. 80
	8-14. 通信確認	. 80
	8-15. ネットワーク状態確認	. 81
	8-16. コンフィグレーションのバックアップとリストア	. 81
	8-17. システムソフトウェアのアップデート	. 82

	8-18. EnOcean デバイスの登録	. 83
	8-19. SMS 送信	. 84
	8-20. SSH トンネル	. 85
	8-21. サポート情報	. 86
	8-22. OpenBlocks $\mathcal{O}$ Support $\forall \mathcal{I} \vdash$	. 87
	8-23. Node-RED の使用	. 87
	8-24. FUNC スイッチの機能割当	. 88
	8-24. 監視機能	. 88
	8-25. URI プロキシ機能	. 92
	8-26. WEB コンソール機能	. 93
	8-27. PLC デバイス管理	. 93
	8-27. SYSLOG 転送機能	. 94
爭	39章 注意事項及び補足	. 95
	9-1. OpenBlocks IoT VX1 の電源について	. 95
	9-2. 自動再起動機能	. 95
	9-3. LTE/3G モジュール(ソフトバンク)運用時のアクセス	. 95
	9-4. WLAN 運用について	. 95
	9-5. Factory Reset(工場出荷状態への切り替え)	. 96
	9-6. 使用ポート一覧	. 96

## 第1章 はじめに

本書は、OpenBlocks IoT Family を WEB ユーザーインターフェース(以下、WEB UI) で 設定する方法を解説しています。本設定には、WEB ブラウザが使用可能なクライアント装 置(PC やスマートフォン、タブレット等)が必要になります。

### 1-1. VX1 向けパッケージ内容

OpenBlocks IoT VX1の標準品構成は以下となります。

VX1本体 1台



ご使用にあたって 1部



放熱・設置ブラケット 1個

K6

デバッグ用 USB コンソールケーブル 1本



AC アダプタ 1本



### 1-2. 各部の名称(VX1本体)



No.	名称	備考
	USB シリアルコンソール	$ m Micro~USB_{\circ}$
Û	ポート	
2	ワイドレンジ電源入力	
3	RS-485(半二重)コネクタ	
4	イーサネットポート	10BASE-T / 100BASE-TX / 1000BASE-T
5	USB ホストモードポート	A-Type/USB3.0
6	専用 AC アダプタ入力	DC5V
		$ m RJ$ -45 $_{\circ}$
		オプションで D-Sub9 ピンとの接続コネクタを販売し
$\bigcirc$	RS-232C ポート	ています。
		接続ケーブルは一般のストレートネットワークケー
		ブルが利用できます。
8	ステータスインジケーター	7色のLEDで点灯、点滅をします。

No.	名称	備考
	パワースイッチ	OS 稼働中の場合、OS をシャットダウンします。
(9)		未稼働状態の場合、OS が起動します。
10	FUNC スイッチ	割当された機能が動作します。
	CIM 7 H b	SIM を挿入するスロットです。
Û	SIM X I Y F	※対応形状は mini-SIM(2FF)(標準 SIM)となります。
(12)	MMCZHWA	MMC はシステム運用に十分な信頼性を確保できない
(12)	MMC X I Y F	為、ファイル交換やログ保存用等にご利用ください。
(13)	RTC 用電池	
	拡張スロット1	モバイル回線用のモバイルアダプタカードの拡張ス
		ロットです。
14		使用するキャリア対応のモバイルアダプタカードを
		取り付けます。原則的に工場出荷オプションとなりま
		す。
	世電フロットの	EnOcean や Wi-SUN モジュール等の拡張スロットで
(15)	払珉∧□ツト2	す。
	DIP スイッチ	工場出荷オプションで設定されるので通常は変更し
		ないでください。
(16)		SW1~3:モデム判別用
		SW4~5:未使用
		SW6:OFF=RS485 ターミネータ ON(デフォルト)
17)	外部アンテナ取付穴	画像では穴埋めされています。
18	放熱・設置ブラケット取付穴	

※SIMの挿入はVX1本体を裏返しにしてSIMスロットの奥まで挿入してください。また、 抜くときも同様にVX1本体を裏返しにして取り出してください。

#### ●モデム種類判別

モデム種類	SW1	SW2	SW3
LTE/3G モジュール(ソフトバンク)	ON	OFF	OFF
LTE モジュール(KDDI)	ON	ON	OFF
LTE モジュール(NTT ドコモ)	ON	OFF	ON
LTE モジュール(NTT ドコモ/KDDI)	OFF	ON	ON
BWA モジュール	OFF	ON	ON
モデム未搭載	ON	ON	ON

### 1-3. BX1 向けパッケージ内容

OpenBlocks IoT BX1の標準品構成は以下となります。



USB 給電コンソールケーブル 1本



1-4. 各部の名称(BX1本体)



No.	名称	備考
	パワースイッチ	短押しで OS をシャットダウンします。
		(INIT スイッチの4秒以上長押しと同一)
Ū		また、8 秒以上の長押しで強制的に電源 OFF しま
		す。
		割当された機能が動作します。
2	FUNC スイッチ	尚、INIT スイッチと印字されている場合は、FUNC
		スイッチとして読み替えてください。
3	ステータスインジケーター	7色の LED で点灯、点滅をします。
	BX1 コネクタ	様々な IO に対応したコネクタです。
4		それぞれの IO に合わせたケーブルを接続可能で
		す。
	SIMスロット	3G 回線(NTT ドコモ系列)を契約した SIM を挿入
5		するスロットです。
		※対応する SIM の形状は mini-SIM(2FF)となりま
		す。(一般的に標準 SIM と呼ばれる規格)

※SIM の挿入はコネクタ面を上にし、コイン等を使って奥まで入れてください。また、抜 くとき時も同様にコインを使用し、SIM スロットの奥まで差し込むとロックが外れてせり 出してきます。

### 1-5. BX3 向けパッケージ内容

OpenBlocks IoT BX3の標準品構成は以下となります。



USB 給電コンソールケーブル 1本



1-6. 各部の名称(BX3本体)



No.	名称	備考
	パワースイッチ	短押しで OS をシャットダウンします。
		(INIT スイッチの4秒以上長押しと同一)
Ū		また、8 秒以上の長押しで強制的に電源 OFF しま
		す。
		割当された機能が動作します。
2	FUNC スイッチ	尚、INIT スイッチと印字されている場合は、FUNC
		スイッチとして読み替えてください。
3	ステータスインジケーター	7色の LED で点灯、点滅をします。
	BX1 コネクタ	様々な IO に対応したコネクタです。
4		それぞれの IO に合わせたケーブルを接続可能で
		す。
	SIMスロット	3G回線(ソフトバンク系列)を契約した SIM を挿入
5		するスロットです。
		※対応する SIM の形状は mini-SIM(2FF)となりま
		す。(一般的に標準 SIM と呼ばれる規格)

※SIM の挿入はコネクタ面を上にし、コイン等を使って奥まで入れてください。また、抜 くとき時も同様にコインを使用し、SIM スロットの奥まで差し込むとロックが外れてせり 出してきます。

### 1-5. EX1 向けパッケージ内容

OpenBlocks IoT EX1の標準品構成は以下となります。

EX1本体 1台



ご使用にあたって 1部

OpenBlocks IoT Family ご使用にあたって

USB Type-A – Micro USB ケーブル 1本

○ 保証書
 ○ ご使用上の注意
 ○ 各種規定
 ○ ソフトウェアについて

ご使用にあたって (本田子・含作田舎) は、製品をご使用される) あずご覧ください。 製品を定意を: 単品件を見た定計用は以下 UEL をご参用ください。 http://www.glatbenic.cl/pi/spoor/

1-7.	各部の名称(EX1	本体)
------	-----------	-----



No.	名称	備考
	USB シリアルコンソール ポート	$ m Micro~USB_{\circ}$
1		バスパワーに対応した USB シリアルコンソールポ
		ートです。
2	専用 AC アダプタ入力	DC5V
3	RS-485(半二重)コネクタ	
4	イーサネットポート	100Base
5	ステータスインジケーター1	7色のLEDで点灯、点滅をします。
	パワースイッチ 1	短押しで OS をシャットダウンします。
		(INIT スイッチ1及び2の4秒以上長押しと同一)
6		また、8 秒以上の長押しで強制的に電源 OFF しま
		す。
	FUNC スイッチ 1	割当された機能が動作します。
7		尚、INIT スイッチと印字されている場合は、FUNC
		スイッチとして読み替えてください。
8	USB ホストモードポート	А-Туре

No.	名称	備考
9	RS-232C ポート	$ m RJ$ - $45_{\circ}$
		オプションで D-Sub9 ピンとの接続コネクタを販
		売しています。
		接続ケーブルは一般のストレートネットワークケ
		ーブルが利用できます。
10	ステータスインジケーター2	ステータスインジケーター1と同機能
	パワースイッチ 2	パワースイッチ1と同機能
(12)	FUNC スイッチ 2	FUNC スイッチ1と同機能
(13)	SIM スロット	SIM を挿入するスロットです。
		※対応する SIM の形状は mini-SIM(2FF)となりま
		す。(一般的に標準 SIM と呼ばれる規格)
14	MMC スロット	MMC はシステム運用に十分な信頼性を確保でき
		ない為、ファイル交換やログ保存用等にご利用くだ
		さい。
(15)	拡張スロット1	EnOcean や Wi-SUN モジュール等の拡張スロット
		です。
(16)	拡張スロット 2	モバイル回線用のモバイルアダプタカードの拡張
		スロットです。
		使用するキャリア対応のモバイルアダプタカード
		を取り付けます。原則的に工場出荷オプションとな
		ります。

No.	名称	備考
17	DIP スイッチ	工場出荷オプションで設定されるので通常は変更
		しないでください。
		SW1:常時 ON
		SW4:未使用
		SW6:OFF=RS485 ターミネータ ON(デフォルト)
		●型番:OBSEX1
		SW2/SW3:モデム種類判別用
		SW5:OFF=RS-232C 使用(デフォルト)、
		ON=RS-485 使用
		●型番:OBSEX1G
		SW2/SW3/SW5: モデム種類判別用
18	RTC 用電池ホルダー	
19	外部アンテナ取付穴	画像では穴埋めされています。
20	ワイドレンジ電源入力	型番 : OBSEX1 では使用不可。
		DC 5~48V 対応

※SIMの挿入はEX1本体を裏返しにしてSIMスロットの奥まで挿入してください。また、 抜くときも同様にEX1本体を裏返しにして取り出してください。

●モデム種類判別

型番	モデム種類	SW2	SW3	SW5
OBSEX1	3Gモジュール	OFF	OFF	-
	LTE/3G モジュール	OFF	OFF	
	(ソフトバンク)	OFF	Off	-
	LTE モジュール(KDDI)	ON	OFF	-
	LTE モジュール(NTT ドコモ)	OFF	ON	-
	モデム未搭載	ON	ON	-

型番	モデム種類	SW2	SW3	SW5	
	3Gモジュール	OFF	OFF	OFF	
	LTE/3G モジュール	OFF	OFF	OFF	
	(ソフトバンク)	Off	Off	OFF	
	LTE モジュール(KDDI)	ON	OFF	OFF	
OBSEX1G	LTE モジュール(NTT ドコモ)	OFF	ON	OFF	
	LTE モジュール	ON	OFF	ON	
	(NTT ドコモ/KDDI)	UN			
	BWA モジュール	ON	OFF	ON	
	モデム未搭載	ON	ON	OFF	

### 1-8. BX0 向けパッケージ内容

OpenBlocks IoT BX0の標準品構成は以下となります。

BX0 本体 1 台







ver 1.0
OpenBlocks IoT Family
openbiotision numity
ご使用にあたって
○ 保証書
⊘ ご使用上の注意
○ 各種規定
○ ソフトウェアについて
ご使用にあたって(本冊子・含保証書)は、製品をご使用される前に
<1>



### 1-9. 各部の名称(BX0本体)



No.	名称	備考
		短押しで OS をシャットダウンします。
	1º17 7 1 1	(INIT スイッチの4秒以上長押しと同一)
Û	NY - X1 y7	また、8 秒以上の長押しで強制的に電源 OFF しま
		す。
		割当された機能が動作します。
2	FUNC スイッチ	尚、INIT スイッチと印字されている場合は、FUNC
		スイッチとして読み替えてください。
3	ステータスインジケーター	7色のLEDで点灯、点滅をします。
		様々な IO に対応したコネクタです。
(4)	BX1 コネクタ	それぞれの IO に合わせたケーブルを接続可能で
		す。

### 1-10. BX3L 向けパッケージ内容

OpenBlocks IoT BX3Lの標準品構成は以下となります。



USB 給電コンソールケーブル 1本



1-11. 各部の名称(BX3L本体)



No.	名称	備考
		短押しで OS をシャットダウンします。
	パローフィッチ	(INIT スイッチの4秒以上長押しと同一)
Ū	NY - X1 y1	また、8 秒以上の長押しで強制的に電源 OFF しま
		す。
		割当された機能が動作します。
2	FUNC スイッチ	尚、INIT スイッチと印字されている場合は、FUNC
		スイッチとして読み替えてください。
3	ステータスインジケーター	7色の LED で点灯、点滅をします。
		様々な IO に対応したコネクタです。
4	BX1 コネクタ	それぞれの IO に合わせたケーブルを接続可能で
		す。
		LTE 回線(ソフトバンク系列)を契約した SIM を挿
5	SIM スロット	入するスロットです。
		※対応する SIM の形状は mini-SIM(2FF)となりま
		す。(一般的に標準 SIM と呼ばれる規格)

※SIM の挿入はコネクタ面を上にし、コイン等を使って奥まで入れてください。また、抜 くとき時も同様にコインを使用し、SIM スロットの奥まで差し込むとロックが外れてせり 出してきます。

### 1-12. BX5 向けパッケージ内容

OpenBlocks IoT BX5の標準品構成は以下となります。



USB 給電コンソールケーブル 1本



1-13. 各部の名称(BX5本体)



No.	名称	備考
		短押しで OS をシャットダウンします。
	パローフィッチ	(INIT スイッチの4秒以上長押しと同一)
Û	NU - X1 V1	また、8 秒以上の長押しで強制的に電源 OFF しま
		す。
		割当された機能が動作します。
2	FUNC スイッチ	尚、INIT スイッチと印字されている場合は、FUNC
		スイッチとして読み替えてください。
3	ステータスインジケーター	7色の LED で点灯、点滅をします。
		様々な IO に対応したコネクタです。
4	BX1 コネクタ	それぞれの IO に合わせたケーブルを接続可能で
		す。
		LTE 回線(NTT ドコモ/KDDI または地域 BWA 系
5	SIM スロット	列)を契約した SIM を挿入するスロットです。
		※対応する SIM の形状は mini-SIM(2FF)となりま
		す。(一般的に標準 SIM と呼ばれる規格)

※SIM の挿入はコネクタ面を上にし、コイン等を使って奥まで入れてください。また、抜 くとき時も同様にコインを使用し、SIM スロットの奥まで差し込むとロックが外れてせり 出してきます。

### 1-14. ステータスインジケーター

本装置のステータスインジケーターは7色のLEDで状態を表示します。 以下が、各状態を表す状態となります。

状態	色	点灯状態	備考
			本体起動及び OS 起動が終わるとモバイル回
本体及び OS 起動中	黄	点灯	線の電波受信チェックへ移行します。
			※SIM が挿入されていない場合は緑点滅。
SIMフロット主体田時	23-	占述	SIM が無い状態での正常稼働または電波受
SIMI ハロ クト 不 使 而 時	形水	示1099	信待機状態への移行待ち状態。
モバイル回線電波:強	白	点滅	電波状態詳細参照。
モバイル回線電波:中	水色	点滅	電波状態詳細参照。
			電波状態詳細参照。
			※この電波強度での通信はリトライが多発す
モバイル回線電波:弱	青	点滅	る可能性があります。そのため、モバイル回
			線を使用する場合にはなるべく電波強度が中
			以上の状態にて使用してください。
モバイル回線電波:圏外	紫	点滅	電波状態詳細参照。
FUNC ギカン/アトス機能			モバイル回線や SIM スロット未使用時にお
FUNU ホクンによる機能 右熱味	黄	点滅	けるステータスインジケーターと交互点滅と
有须时			なります。
OS 終了中	黄	点灯	
			AirManage リモート管理サーバへの初回ア
AirManage 初回アクセス	+	t lat	クセスが失敗した際に表示となります。WEB
失敗時	亦	<b>点</b> 灯	UI 未使用時の場合は5分後にOS が終了開始
			します。
AirManage 初回アクセス 失敗時の OS 終了中	赤	点滅	

#### ※電波状態詳細

モデム種別	電波:強	電波:中	電波:弱	電波:圈外
3G モジュール	-87dBm 以上	-88~-108dBm	-109~-112dBm	-113dBm 以下
(NTT ドコモ)				
3G モジュール	-87dBm 以上	-88~-108dBm	-109~-112dBm	-113dBm 以下
(ソフトバンク)				
LTE/3G モジュール	-87dBm 以上	-88~-108dBm	-109~-112dBm	-113dBm 以下
(ソフトバンク)				
LTE モジュール	アンテナ2本以上	アンテナ1本時	アンテナ0本時	圈外時
(KDDI)				
LTE モジュール	アンテナ3本時	アンテナ2本時	アンテナ1本時	圈外時
(NTT ドコモ)				
LTEモジュール	-95dbm 以上	-95.1~-105dBm	-105.1~-120dBm	-120.1dBm以下
(NTT ドコモ/KDDI)				
BWAモジュール	-95dbm 以上	-95.1~-105dBm	-105.1~-120dBm	-120.1dBm以下

### 1-15. 放熱・設置ブラケット取付方法

●OpenBlocks IoT VX1 または EX1 本体への取付



OpenBlocks IoT VX1 または EX1 本体裏と放熱・設置ブラケットの対角線にある 2 箇所の穴の 位置を合わせ、 M3x5+セットナベ小ネジ SW 付(付属品)を上から留めて取り付けます。

●壁面等への設置



放熱・設置ブラケットを取付けた OpenBlocks IoT VX1 または EX1 を M3~M4 小ネジ<sup>\*\*1</sup>また は 3~4.1 タッピングネジ<sup>\*\*1</sup>を使用して キャビネットや壁面に取付けます。





**DIN** レール取付板(**DRT**-1/別売り)と放熱・設置ブラケットを M3 L5~10 小ネジ<sup>\*\*1</sup>を使用して取 付けます。

※1:別途ご購入ください。

# 第2章 ご利用の前に

### 2-1. SIM について

OpenBlocks IoT Family にて、搭載可能な SIM 形状は mini-SIM(2FF)です。micro-SIM 及 び nano-SIM を使用する場合には、脱落防止フィルム有及び接着テープ有で SIM を固定で きるアダプタを使用してください。尚、SIM アダプタを使用した場合での SIM スロットの 破損は有償修理対象となります為、ご注意ください。

### 2-2. OpenBlocks IoT Familyの設置

OpenBlocks IoT Family(OpenBlocks IoT VX1 は除く)は USB 充電器を外部バスパワー電源として利用するので別途お買い求めください。(USB 充電器は PSE マーク付きの国内安全規格品をご利用ください。また、出力電力は 1A 以上の物を使用してください。尚、 OpenBlocks IoT BX3L の場合、2A 以上の物を使用してください。) 添付の USB 給電コンソールケーブルを使い本装置と USB 充電器を接続します。 また OpenBlocks IoT FX1 の場合はオプションにとして AC アダプタを用意しております。

また、OpenBlocks IoT EX1の場合はオプション品としてACアダプタを用意しております。 使用する場合には、ご購入ください。





また、OpenBlocks IoT VX1 を添付の AC アダプタを用いて以下のように接続します。 ※OpenBlocks IoT VX1 では AC アダプタまたはワイドレンジ電源入力以外での電源運用は サポート対象外となりますのでご注意ください。



利用可能状態になるとステータスインジケーターが点灯・点滅します。 (表示色はその時の状態によります。)

### 2-3. WEB クライアントの準備

① WEB クライアントは日本語設定にて、WEB UI ヘアクセスしてください。

本装置のWEBUIにアクセスするには、WEBクライアントが必要です。

WEB クライアントには Ethernet 使用可能または WLAN 接続可能な PC やタブレット、ス マートフォンが利用できます。

A 1 8 9 1 100

WLAN 設定経由にて本装置のアクセスポイント(SSID)を選択し接続します。

#### ●WLAN 接続の場合

右のスナップショットはスマートフ オンの画面で、WLANのSSID一覧 から本装置のSSID("iotfamily\_"本 体シリアル番号)を選択した画面で す。ここで出荷時デフォルトのパス ワード"openblocks"と入力すると接 続できます。

WLAN 接続できたら WEB ブラウザ を使い次のアドレスにアクセスしま す。

#### iotfamily\_90568607d011 OpenBlocks® oT /127-F | パスワードを表示 □ 詳細オプション システム全体の概要 更新 qwertyuiop ハードウェアリソース メインメモリ: 308 MB / 961 MB ストレージ: 414 MB / 2283 MB asd fghjkl@ ネットワーク (国家(?) zxcvbnm Ø F0DN: bx1.example.org Pアドレス (wlan0): 192.158.254.254 GK1R: MM(+(@)(:+) \_\_\_\_\_\_ QR. Δ ŵ Ð ð

SSID 選択時

WEB 画面

0 % 🖀 🗐 🗺 10:57

接続する WEB クライアントの IP ア

●Eternet 接続の場合

ドレスを 192.168.253.0 のネットワ ークにアクセスできる IP アドレス (254以外)を設定しWEBブラウザに て次のアドレスにアクセスしてくだ さい。

※本体シリアル番号は筐体の背面に記載されています。

	WLAN 時 URL	Ethernet 時 URL
HTTP 接続	http://192.168.254.254:880	http://192.168.253.254:880
HTTPS 接続	https://192.168.254.254:4430	https://192.168.253.254:4430

OpenBlocks IoT VX1 は稼働直後では、WLAN でのアクセスは認証エラーとなる場合があります。数十秒後に再接続を実施することで接続可能となります。

※パソコンでの WEB クライアントとして用いる WEB ブラウザは Google Chrome 及び Firefox の最新バージョンをサポートします。また、Internet Explorer では一切の操作が行 えませんのでご使用しないでください。

# 第3章 WEB UI の初期基本設定

スマートフォン上の WEB ブラウザでも本設定は可能ですが、本書ではパソコンの WEB 画面を用いて解説を行います。

3.1 項から 3.3 項は工場出荷状態の時に必要な手順なので、それ以外の時は 3.4 項からの手順を参照ください。また、3.3 項までが本装置を初期設定するために必要な最小限の手順で、 モバイルルーター的な設定、または単体サーバとしての最小限のネットワーク設定が説明 されています。

#### Attension)

本章にて実施している3.2項での管理者アカウントの設定はセキュリティ上重要です。 その為、クラックされにくくなるようなパスワードを設定してください。

### 3-1. 使用許諾画面

#### OpenBlocks® IoT

使用許諾契約の確認	
使用許諾契約	同意する )   同意しない )
OpenBlocks	
この契約は、お客様とふらっと 封のまま本製品および付属品	ホーム様式会社(北下、当社とします。)との間に締結される契約です。お客様がこの契約に同意できない場合には、本体未開 一式をご購入先まで返品(ださい。
第1条 定義 本契約における使用注語の第 (以下、本ンフトウェア製品とし 本契約において「知り財産権」	囲ま、出社製品FlogenBlocksシリーズけ開発の管理シールをしい、WU(ウェデ・ユーザー・インターフェース/ソプトウェア製品 ます。) たよび取り扱い 実明者などの付置資料ー式が対像となります。 とは、特許権(特許出媒権を含む)者作権、ノウハウモの地一切の始め)別作物に対する種料はたは活星上の利益をしいます。
第2条 使用許諾 お客様は、本契約の全項目に	含意することを条件として、本ソフトウェア製品を、契約対象のハードウェアにおいて使用することが出来ます。
第3条 禁止事項 お客機は以下のことを行うこと A)本ソフトウェア製品の複製・ A)なソフトウェア製品の複製・	はできません。 構造を時代表 後のたけたち、ア製品の成入

本装置に何も設定されていない出荷直後では、 本装置における使用許諾契約書の画面が表示 されます。

この使用許諾に合意出来る場合のみ本装置を 利用することが出来ます。

画面をスクロールして契約内容を確認の上で、 「同意する」を選択して次の画面に進みます。 「同意しない」を選択した場合には、Google ヘリダイレクトされます。

### 3-2. 管理者アカウント(WEB UI の管理者アカウント)設定

#### **OpenBlocks**<sup>®</sup>**IoT**

管理者アカウント作成		
ユーザ名		
パスワード		
バスワード (確認)		
操作		
(RW) (1-m/2m /rw2	<u>`</u>	

使用許諾契約書に同意いただいた場合、WEB UIの管理者アカウントとパスワード入力画面 が開きます。

入力中のパスワードを表示させるには「入力パ スワード表示」を押してください。

#### 注意) 管理者アカウント

ここで入力する管理者のユーザ名は後で変更 できない為間違わないように入力してくださ い。

このアカウントは root ユーザのパスワード変 更権限を持つ為、注意してください。

アカウント情報を設定し、保存ボタンを押すと最初のコンフィグレーション情報が書き込まれます。

コンフィグレーションが書き込まれますと、次回のアクセスからは 3.1.項と 3.2.項の画面は 表示されなくなり、WEB アクセスでの最初の画面は管理者のログイン画面が表示されます。

### 3-3. ネットワーク設定画面

OpenBlocks IoT Familyを利用する時に最小限の設定が必要なネットワーク設定画面です。 モデムモジュールを搭載している製品を用いて説明を行います。本装置をモバイルルータ ーとして使う構成、本装置をサーバ装置としてモバイル回線を使わない構成の二通りあり ます。

下図の通り、ネットワーク設定の基本タブの上の部分に本装置の名前を入力する欄があります。

ホスト名 (?)	obsiot
ドメイン名 (?)	example.org
デフォルトゲートウェイ (?)	
DNSサーバー 1 ( <u>?</u> )	
DNSサーバー 2	
DNSサーバー 3	

**ホスト名:** 本装置のサーバとしての名前です。

ドメイン名:

本装置の所属するネットワークドメイン名で す。

デフォルトゲートウェイ:

DHCPにて IPを動的取得する場合には設定不 要です。

#### DNS サーバ:

DHCPにて IPを動的取得する場合には設定不要です。

設定する場合、最低1つ必須となります。2つ 以上の設定を推奨します。

次の項から 3-3-1. モバイルルーター構成と 3-3-2. サーバ構成で設定方法が異なります。 設定画面は上図と同じで、その下側の設定項目の解説となります。

### 3-3-1. モバイルルーター構成

本項では、本装置をモバイルルーターとして利用する際の設定方法を解説します。

#### サービスネットワーク(Wireless LAN)

#### 使用設定:<sup>※1</sup>

「使用する」を選択。

使用モード:

「APモード」を選択。

#### 使用周波数:

「2.4GHz」か「5GHz」を選択。

#### SSID :

任意のアクセスポイント名を入力。

SSID を一般から見えないようにするには、ス テルス SSID フラグにチェックを入れます。

#### 無線認証:と無線暗号化:

プルダウンメニューから任意のモードを選び ます。デフォルトの設定のままで使用して問題 ありません。

#### パスフレーズ:(セキュリティキー)

8文字以上を設定する必要があります。

#### IPアドレス:

本装置の WLAN 向けの IP アドレスとネット マスクのビット数を入力します。

#### **IP** 配布レンジ:

本設定では、DHCPサーバとして動作する為、 配布する IPアドレス配布を設定します。

#### DHCP 用デフォルトゲートウェイ:

#### DHCP 用 DNS サーバ:

DHCP クライアントに通知するデフォルトゲ ートウェイと DNS の IP アドレスを設定しま す。

#### 固定 IP 設定:

固定 IP を配布する際に使用する及び設定を行います。

#### サービスネットワーク(Wireless LAN)

使用設定	◉ 使用する ◎ 使用しない	
使用モード	◎ クライアント モード (?) ®	AP-E-F
SSID	(vaderBeta	) 🔲 ステル スSSID フラグ 🔲 WPS機能を使用する
パスフレーズ 自動生成		■パスフレーズを表示する
使用周波数		細を表示する
無線認証	WPA2-PSK ·	
無線暗号化	AES V	
IPアドレス(静的)	(192, 168, 254, 2	54 / 24 (?)
IP配布レンジ	(192. (168. (254. (1	00 - (192, (168, (254, (200
DHCP用 デフォルト ゲートウェイ	192. 168. 254. 2	54
DHCP用DNSサーバー	192. 168. 254. 2	54
固定IP設定	🖲 使用しない 🔘 使用する	

#### サービスネットワーク (Ethernet)

使用設定	🖲 使用する
IPアドレス設定	● 静的 <sup>○</sup> DHCP
IPアドレス(静的)	(192. (168. (253. (254 / (24 (?)
DHCP機能	◎ 使用する ® 使用しない

#### サービスネットワーク(モバイル回線)(?) 🗏 モデム制御項目を表示する

使用設定	● 使用する    使用しない
APN	
ユーザ名	
パスワード	■パスワードを表示する
認証方式	PAP V
自動接続	🖲 自動接続する 🔘 自動接続しない
通信確認用ホスト (?)	8.8.8.8
定期再接続設定	🖲 定期再接続をする 🔍 定期再接続をしない
モバイル回線再接続時間[min] (?)	660
SMSコントロール (?)	● 無効 ○ 有効

#### サービスネットワーク (Ethernet)

使用設定	◉ 使用する ◎ 使用しない
IPアドレス設定	● 静的 <sup>©</sup> DHCP
IPアドレス(静的)	(172. 16. 7. 228 / 24 (?)
DHCP機能	● 使用する ○ 使用しない
IP配布レンジ	(192. (168. (253. (100 - (192. (168. (253. (200
DHCP用デフォルトゲートウェイ	(192. (168. (253. (254
DHCP用DNSサーバー	(192. (168. (253. (254
固定IP設定	◉ 使用しない ◎ 使用する

#### <u>サービスネットワーク(Ethernet)</u>

#### 使用設定:

使用する場合のみ、「使用する」を選択してく ださい。

#### IPアドレス設定:

Ethernet に設定する IP アドレスを設定しま す。静的を選択した場合、以下の項目が表示さ れます。

#### IP アドレス(静的):

静的アドレスを使用する場合には、本項目欄に て IP アドレスを設定してください。

#### DHCP 機能:

サービスネットワーク(Wireless LAN) と同様に DHCP 機能を使用する場合に「使用

する」を選択します。

設定項目は同様に「DHCP 用デフォルトゲート ウェイ」、「DHCP 用 DNS サーバ」、「固定 IP 設定」となります。
#### サービスネットワーク (モバイル回線) (?) 🔲 モデム制御項目を表示する

使用設定	● 使用する 🔍 使用しない
APN	
ユーザ名	
パスワード	□パスワードを表示する
認証方式	(PAP V
自動接続	● 自動接続する ● 自動接続しない
通信確認用ホスト (?)	6.8.8.8
定期再接続設定	◎ 定期再接続をする 🖲 定期再接続をしない
SMSコントロール (?)	💌 無効 🔍 有効

#### サービスネットワーク(モバイル回線)

「モデム制御項目を表示する」にチェックは不 要です。

#### 使用設定:

「使用する」を選択してください。

#### 地域 LTE 使用設定:

地域 LTE 網(Band 41)を使用する場合のみ、「使用する」を選択してください。

※LTE モジュール(NTT ドコモ/KDDI)または BWAモジュールを用いている場合のみ表示さ れます。

### GPS 使用設定

GPS 機能を使用しない場合には「使用しない」 を選択して下さい。

また、使用する場合には下記の 2 種類から選 択してください。

「独立型 GPS」:通信モジュールが GPS 衛星 を補足し、本製品の位置情報を取得。

「アシスト型 GPS(UE·base)」:通信モジュー ルが GPS 衛星を補足しキャリア基地局情報と 連動し、本製品の位置情報を計算。

※LTE モジュール(NTT ドコモ/KDDI)または BWAモジュールを用いている場合のみ表示さ れます。また、本機能はデータ収集時に使用す る事が可能となります。尚、SIM を挿してい る必要があります。尚、OpenBlocks IoT BX5 においても表示されますが使用しないでくだ さい。

APN: ※LTE モジュール(KDDI)の場合、項 目はありません。

キャリア指定の APN を設定。

キャリア指定のユーザ名を設定。

パスワード:

キャリア指定のパスワードを設定。

#### 認証方式:

キャリア指定の認証方式を設定。

#### 自動接続:

「自動接続する」を選択すると、起動時から自 動でモバイル回線へ接続します

#### 通信確認用ホスト:

モバイル回線がインターネット等に接続され ているかを検証するホストを指定します。

## ※本項目が"127.0.0.1"が設定されている場合、 通信確認は行いません。

#### 定期再接続設定:

モバイル回線を定期的に再接続を行うか設定 します。

#### (モバイル回線再接続時間[min]:)

モバイル回線接続後に本項目で設定した時間 経過後に自動で切断及び接続を行います。

#### SMS コントロール:

ここでは「無効」を設定。

以上、一連の設定が完了したら保存ボタンを押します。

保存ボタンを押すと設定が保存され、ネットワーク設定については再起動後に適用されま すので、3-4. 内部時計設定項に進んでください。

地域 LTE は地域 BWA と同一です。地域広帯域移動無線アクセス(地域 BWA : Broadband Wireless Access)システムは、2.5GHz 帯の周波数の電波を使用する無線システムです。

LTE モジュール(NTT ドコモ/KDDI)または BWA モジュール搭載の EX1 または VX1 にお いて、GPS を使用する場合には、GPS アンテナが必要となります。GPS アンテナご所望の 方は、弊社の営業にご連絡ください。

## 3-3-2. サーバ構成

本項では、本装置をネットワーク内の単体サーバとして利用する際の設定方法を解説しま す。

#### サービスネットワーク (Wireless LAN)

使用設定	●使用する○使用しない
使用モード	●クライアントモード(?) ○ APモード
SSID	hogehoge ロステルスSSIDフラグ
バスフレーズ	•••••・ズを表示する
IPアドレス設定	● 靜的 ○ DHCP
IPアドレス(青船り)	(192. (168. (254. (254 / 24 (?)
WLAN検証用アドレス (?)	8. 8. 8. 8

#### サ*ー*ビスネットワ*ーク* (Ethernet)

使用設定	●使用する○使用しない
IPアドレス設定	● 靜的 〇 DHCP
IPアドレス(静的)	(172. 16. 7. (225 / 24 (?)
DHCP機能	○使用する●使用しない

#### サービスネットワーク (モバイル回線) (?) 🗌 モデム制御項目を表示する

使用設定

○使用する●使用しない

#### <u>サービスネットワーク(Wireless LAN)</u>

**使用設定:**<sup>\*1</sup> 「使用する」を選択。

使用モード:

「クライアントモード」を選択。

#### SSID :

接続するアクセスポイントの SSID を入力。ス テルス SSID に対して接続する時はステルス SSID フラグをチェック。

#### IPアドレス設定:

静的かDHCPを選択。

DHCPの場合、本装置にDHCPサーバが固定 IPを配布するように設定してください。

## IP アドレス(静的):

IP アドレスの設定が静的の時、IP アドレスを 入力。

### WLAN 検証用アドレス:

WLAN の接続状態を監視するための ping を
送出するサーバの IP または FQDN を入力。
WLAN 上流の ping 応答可能な装置を設定します。

## <u>サービスネットワーク(Ethernet)</u>

使用する場合のみ、使用設定にて「使用する」 を選択してください。また、静的アドレスを使 用する場合には、IP アドレスを設定してくだ さい。

DHCP 機能を使用する場合には各項目のお設 定が必要となります。

#### サービスネットワーク (Ethernet)

使用設定	● 使用する ◎ 使用しない
IPアドレス(静的)	(172. 16. 7. 227 / 24 (2)
DHCP機能	● 使用する ◎ 使用しない
IP配布レンジ	(192. (168. (253. (100 - (192. (168. (253. (200
DHCP用デフォルトゲートウェイ	(192. (168. (253. (254
DHCP用DNSサーバー	(192. (168. (253. (254
固定IP設定	◎ 使用しない ◉ 使用する
固定IP設定 (?) 追加	масткия: IPT кия:

サービスネットワーク (モバイル回線) (?) 
モデム制御項目を表示する
使用設定
使用する ● 使用しない

#### サービスネットワーク(モバイル回線)

「モデム制御項目を表示する」にチェックは不 要です。

#### 使用設定:

「使用しない」を選択。

※「モデム制御項目を表示する」項目については、開発者向けの機能です。そのため、開発者向けガイド を確認してください。

以上、必要な項目を設定したら保存ボタンを押し、3-4. 内部時計設定項に進んでください。

()	間違った SSID を入れて再起動してしまった時の対処
	この項で存在しない上流アクセスポイントの SSID を登録してしまった場合、一般的
	な方法で本装置へのアクセスが出来なくなります。
	この場合は、本装置を初期状態にして再起動する方法があります。
	※ブラウザに WEB UI のセッション情報が残っている場合、以前の状態で残ったま
	ま表示されます。そのため、ログアウトを行い再アクセスすることで使用許諾画面か
	ら再度設定してください。
	●OpenBlocks IoT VX1 モデルの場合
	1,本製品に USB コンソールを接続し PC と接続します。
	2, 先ず本装置のパワースイッチを押して、本装置をシャットダウンします。
	3, シャットダウン後にパワースイッチを押します。
	4, GRUB メニューにて"WebUI init boot"を選択します。
	4,本装置が工場出荷状態で起動してきます。
	5,もう一度、本装置を設定し直し再起動します。
	●OpenBlocks IoT VX1 以外のモデルの場合
	1, 先ず本装置のパワースイッチを押して、本装置をシャットダウンします。
	2, 本装置の FUNC スイッチ(INIT スイッチ)を押しながらパワースイッチを押しま
	す。
	ステータスインジケーターが一瞬点滅したらパワースイッチを離します。
	ステータスインジケーターが黄色点灯したら FUNC スイッチを離します。
	3,本装置が工場出荷状態で起動してきます。
	4,もう一度、本装置を設定し直し再起動します。

# 3-3-3. WLAN AP モードの詳細設定(CH 設定と国際対応)

電波干渉によるチャネル変更や、日本国外での WLAN の AP モード利用における国コード 設定が行えます。

#### サービスネットワーク (Wireless LAN)

使用設定	● 使用する ◎ 使用しない		
使用モード	● クライアントモード(?) ● APモード		
SSID	(VaderBeta	□ ステルスSSIDフラグ □ WPS機能を使用する	
バスフレーズ 自動生成		■バスフレーズを表示する	
使用周波数	○ 2.4GHz ● 5GHz II 詳細	を表示する	
使用チャネル	36 🔻		
国コード	JP V		
無線認証	WPA2-PSK V		
無線暗号化	AES V		
IPアドレス(静的)	(192. 168. 254. 254	4/24(?)	
IP配布レンジ	(192. (168. (254. (100	0 - (192. (168. (254. (200	
DHCP用デフォルトゲートウェイ	(192. (168. (254. (254	3	
DHCP用DNSサーバー	(192. 168. 254. 254	4	
固定IP設定	● 使用しない ● 使用する		
ir アレス解究が IP配布レンジ DHCP用デフォルトゲートウェイ DHCP用DNSサーバー 固定PB設定	(192.(108.(254.(254 (192.(168.(254.(100 (192.(168.(254.(254 (192.(168.(254.(254 (192.(168.(254.(254 ● 使用よな)● 使用する	4 / 24 (2) 0 - (192. (168. (264. (200 4 4	

#### サービスネットワーク(Wireless LAN)

#### 使用設定:

「APモード」を選択。

「APモード」を選択すると、使用周波数の右 に「詳細を表示する」というチェックボックス が表示されます。

このチェックボックスにチェックを入れると、 「使用チャネル」と「国コード」の設定項目が 現れます。

サービスネットワーク (Wireless LAN	)			
使用設定	● 使用する ● 使用しない			
使用モード	● クライアントモード(?) ● APモード			
SSID	VaderBeta ロステルスSSIDフラグ WPS機能を使用する			
パスフレーズ 自動生成				
使用周波数	○ 2.4GHz ● 5GHz ✔ 詳細を表示する			
使用チャネル	36 •			
国コード	JP V			
無線認証	GP GR PSK ▼			
無線暗号化	GT GU			
IPアドレス(青軸)	GY HK 168. (254. (254 / 24 (2)			
IP配布レンジ	HN HR 168. (254. (100 - (192. (168. (254. (200			
DHCP用デフォルトゲートウェイ	HT HU 168. (254. (254			
DHCP用DNSサーバー	ID IE 168. (254. (254			
固定P設定	IN よれい ○ 使用する			
サービスネットワーク (Ethernet)	ик IS IT JM			
使用設定	JP マトる 〇 使用しない			

#### 使用チャネル:

任意のチャネルをプルダウンメニューから選 択します。空いているチャネルを見つけるには スマートフォンの WLAN チャネルアナライザ などのアプリを使うと参考になります。

## 国コード:

本装置を設置する国に対応する国コードを設 定してください。 日本の場合は「JP」となります。

## 3-4. 内部時計設定

本装置にはRTCのバックアップ電池を搭載したモデルと搭載していないモデルがあります。 モバイル回線用モデムモジュールを搭載しているBXシリーズ製品(BX0除く)では使用可能 なSIM が挿入されている場合、時刻を本装置の起動の際にモバイル回線の基地局から取得 しています。また、モバイル回線用モデムモジュールが搭載されていない機種はRTC用の バックアップ電池を内蔵している為時刻の取り直しは行っておりませんが、RTCにより一 定水準のシステム時刻がサポートされます。

RTC のバックアップ電池有無を問わず、基本的には NTP サーバとの時刻同期を推奨します。

但し、NTP サーバが利用できない環境での運用の場合には、本装置の WEB UI を表示して いる PC やスマートフォンの時刻を WEB ブラウザ上で同期できます。

Jendiocks		ログイン ID: admin (権限: スーパーユーザー) <u>マイペー</u>
ユボード サービス	システム ネットワーク パンテナンス	<b>拉珠 技術曲幅</b>
24 <b>111</b>	7,7,7-F 747/3- 850-000	MEB1-3-
ファイル管理 ライセンス	8/N	
時刻設定		
PCと時刻を同期(?)	2016/09/14 19:26:30 (日期)	
タイムゾーン	(Asia/Tokyo 🔹	
時刻同期職定	INTP O 同期しない	
NTPサーバー (?)	fitp.nict.jp	
位置情報設定		
位置情報同期 (2)	同期 地図表示 (2)	
線度		
程度		
リポシトリ情報 (?)		
リポジトリの内容		
deb http://cdn.debian.or.jp/debi	an/ jessie main lebian/ jessie main	A
#deb http://cdn.debian.or.jp/deb #deb-src http://cdn.debian.or.jp	rian/ jessie-backports main Ideblan/ jessie-backports main	
deb http://cdn.debian.orjp/debi deb-src http://cdn.debian.orjp/d	an/ jessie-updates main lebian/ jessie-updates main	
#deb http://ttp.plathome.co.jp/pi deb http://172.16.7.186/vx1 /	ib/OBSVX1/debian/jessle /	•

#### 時刻設定

#### PCと時刻を同期:

同期ボタンを押すとWEBを表示しているPC の時刻を反映します。

タイムゾーン:

本装置の設置地域を選択します。

#### 時刻同期設定:

力します。

時刻同期の方式を設定します。通常はNTPを 指定してください。

LTE モジュール(NTT ドコモ)を搭載している 場合、"モデム"項目が表示されモデムから時刻 同期を行うことが可能です。(SIM が挿入され ている必要があり、また正しい APN の設定が 必要になります。)

**NTP サーバ: (NTP 選択時)** NTP サーバの IP アドレスまたは FQDN を入

#### 位置情報設定

#### 位置情報同期:

同期ボタンを押すとブラウザが保持している 位置情報を反映します。(本機能は HTTPS 接 続にて実施する必要があります。) 地図情報ボタンを押すと GoogleMap にて位置

情報を表示します。

## 緯度:

緯度情報を設定します。

### 経度:

経度情報を設定します。

#### <u>リポジトリ情報</u>

リポジトリの内容:

本装置のソフトウェアの更新情報のリポジト リが表示されます。この画面では編集はできま せん。

編集する場合は、SSH 等にて CUI ログイン後 に"/etc/apt/sources.list"ファイルを編集して ください。

(編集結果は自己責任での管理となります。)

編集後、保存ボタンを押すと設定が保存されます。基本的には再起動は不要ですが、使用 しているアプリケーションのタイムゾーン情報等の反映があるため、再起動を推奨します。 ここまでが本装置を運用するために必要な基本的な設定項目です。 設定が完了後に、次項のシステム再起動を実施します。

# 3-5. システム再起動による設定項目の反映

ここまでが本装置を運用するために必要な最小限の設定項目です。

その他の設定項目については必要に応じて解説部分を参照してください。

本項ではネットワークの基本設定後、システムに設定内容を反映するためのシステム再起 動について解説を進めます。

		2010 12101446	た��能にわると WEB 両面の L 如にいつ
SIMカードが存在しない為 SIMへの	青朝は反映されません。		に状態になると WEB 画面の工部にシネ
BULを保存しました。	Netradov C1 va. C704		再起動を促すメッセージが左図の通り表示
設定を反映するには、 <u>再続助</u> が必要で	T.	a met	トナナ
8* 8472900N8	ルーティング 単語雑誌		10£9°
ホスト名(2)	obsiot		システム再起動には、この赤枠で表示された
ドメイン名 (2)	(example.org		
デフォルトゲートウェイ(2)			ッセージの「再起動」リンクをクリックしま
DNS#=/(=1(2)			
DNSサーバー 3			クリックするとメンテナンスメニュー内の
サービスネットワーク (Wireles	ss LAN)		止 再却動力でまテが切り抜わります
使用設定	● 使用する ● 使用しない		- 工、円起動グノに及小が切り首ねります。
使用モード	◎ クライアントモード ® APモー	4	
(本田園)生活		±1	
<u>定在長時するには 新成成</u> が必要で	5. 亭止,再起動		
	7. 第4:再起動 (第行) (第行) (第行)	Version 1.0.5	_
	5. #4: #E28 (RT) (RT)	Version 1.0.5 ログイン ID. seinn (唱歌 報時音い) <u>マイイーン</u>	- - 更に再起動の確認画面が現れるので、実行7
は日時でものに、からので マスペッムの知道 停止・再起動 停止で) 再起動で) それに向かって、134 AU (pdf) (1454)での ためのののので、134 AU (pdf) (1454)での ためののののののののののののののののののののののののののののののののののの	5. 単止・現記 単一 現行 現行 現行 見 用 フ ム ネットワーク メンデナンス	Version 1.0.5 ログイン D. zeron (明奈 制修者に) <u>マイイーン</u> (S語 たが)合約	更に再起動の確認画面が現れるので、実行な ンを押すと、最終確認ウィンドウがポップ
また。 また。 たた。 本のではのので、 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本	5. 事止・再起動 (展行) (展行) (展行) (展行) 5. ネットワーク メンテナンス 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4.	Version 1.0.5 ログイン Io same (破壊 制序用し) <u>マイバーン</u> 115日 - 215(1分利)	更に再起動の確認画面が現れるので、実行     ンを押すと、最終確認ウィンドウがポップ     プします。
2019年2月4日 8 conce 「2013年14月1日 第2日、17月2日前 停止・17月2日前 停止・17月2日前 中山・17月2日前 中山・17月2日日	<ul> <li>第4: 再起動</li> <li>第7:</li> <li>第7:</li></ul>	Version 1.0.5 ログイン ID some (暗聴 秘障症) <u>マイページ</u> 115日 - 文好音能	<ul> <li>更に再起動の確認画面が現れるので、実行ないで、実行ないで、実行ないで、実行ないで、実行ないで、実行ないで、実行ないで、実行ないで、実行ないで、</li> <li>ンを押すと、最終確認ウィンドウがポップないで、</li> <li>プします。</li> <li>これが最後の確認で「OK」ボタンを押す。</li> </ul>
the EARSE & Concentration (1997)	課 止 - 再定 一 第 7 承 7 、 来 7 、 来 7 、 大 のトワーク メン アナンス いま す.	Version 1.0.5 ログイン ID some (暗聴 秘障症) <u>マイページ</u> 115日 - 紅崎青柳	<ul> <li>更に再起動の確認画面が現れるので、実行ないた</li> <li>ンを押すと、最終確認ウィンドウがポップな</li> <li>プします。</li> <li>これが最後の確認で「OK」ボタンを押す。</li> <li>ステム再起動が始まります。</li> </ul>
	ま 単止・再起動 「東行 東行 東行 東行 東行 、 東行 メンテナンス います。 く 今間をあけた他に変更したアドレスで提続	Version 1.0.5 ログイン ID, storm (暗影 朝鮮田) <u>マイイージ</u> 10日 - 紅城侍郎 110届して下さい。	<ul> <li>更に再起動の確認画面が現れるので、実行ないた。</li> <li>ンを押すと、最終確認ウィンドウがポップなプします。</li> <li>これが最後の確認で「OK」ボタンを押す。</li> <li>ステム再起動が始まります。</li> </ul>
the part of and a section of a secti	ま 事 止・再起動 「 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	Version 1.0.5 ログイン ID admn (編集 報酬日)、 <u>マイイーン</u> 11日 - 女女内会員 11日 - マイス・2 11日 - マイス 11日 - マイ 11日 - マイス 11日 - マイス 11日 - マイ 11日 - マイ 11日 - マイ 11日 -	<ul> <li>更に再起動の確認画面が現れるので、実行ないたを押すと、最終確認ウィンドウがポップです。</li> <li>これが最後の確認で「OK」ボタンを押する、</li> <li>ステム再起動が始まります。</li> </ul>
	<ul> <li>第4: 再定動</li> <li>第7: 第2: 第7: 第2: 第2: 第2: 第2: 第2: 第2: 第2: 第2: 第2: 第2</li></ul>	Version 1.0.5 ログインに seme (暖巻 報告し) <u>マイイーン</u> 1.5 だが前日 	<ul> <li>更に再起動の確認画面が現れるので、実行ないたを押すと、最終確認ウィンドウがポップです。</li> <li>これが最後の確認で「OK」ボタンを押する</li> <li>ステム再起動が始まります。</li> </ul>
	事止・再起動	Version 1.0.5 ログイン ID storm (暖影 朝鮮(ロ) <u>マイページ</u> (広) (取得前) にしぼして下さい。 ニージ 172.16.7.229:880 の記述: 当に展行しますか?	<ul> <li>更に再起動の確認画面が現れるので、実行なンを押すと、最終確認ウィンドウがポップ、プします。</li> <li>これが最後の確認で「OK」ボタンを押す。</li> <li>本 再起動はシステムの状態によりますが、表示</li> </ul>
日本日本日の日にのいたいます。           日本日本日の日にのいたいます。           日本日本日の日にのいたいます。           中止・雨起動           毎止 (2)           雨起動 (2)           原田口の日にの、おうれ Highen House House           Deem Blocks®           ロボード ワービス シス           コボード ワービス シス           ロボード ワービス シス           国産 ロボクシを押すことで、再起動を行・PFVトスを変更した差白は、しばら (第行)	事止・再定動 原で 原で 原で 第二 第二 第二 第二 第二 第二 第二 第	Version 1.0.5 ログイン D. somn (暗惑 制得者し) <u>マイイーズ</u> (5.5) だぼ(音句) (1) ほして下さい、 (ニジ 172.16.7.229:880 の記述: 当に県行しますか?	<ul> <li>更に再起動の確認画面が現れるので、実行ないたを押すと、最終確認ウィンドウがポップです。</li> <li>これが最後の確認で「OK」ボタンを押する、</li> <li>ステム再起動が始まります。</li> <li>*</li> <li>再起動はシステムの状態によりますが、表示の</li> </ul>

無線経由で WEB UI にアクセスし、本装置が AP モードの場合、再起動後に本装置への再 接続が発生します。また、再起動完了後にログイン画面を表示させるには WEB ブラウザか らのリロード操作が必要です。

# 3-6. 管理者ログイン画面

<b>OpenBlocks®</b>		
ログイン		
ユーザ名		
パスワード		
DM12		

本装置が出荷直後の状態にない時、最初に表示される画面です。

一度ログアウトしてしまっても、この画面から のスタートになるので、その場合は、ここでロ グインしてください。

# 3-7. ダッシュボード画面

	DOR	ン ID: somin (編集: 制造業し) <u>マイパーン</u>
ボード サービス システム ネットワーク メンテナンス	拡張	技術情報
システム全体の概要更新		
(ードウェアリソース		
メインメモリ : 503 MB / 961 MB		
ストレージ : 592 MB / 2283 MB		
ネットワーク (豊富)		
FQDN : obsiot.example.org		
Pアドレス (wlan0): 192.168.254.254		
F / F / ス (ellil): 172:10:1228 Eバイル回線状況: 未接続(電波: 強) 接続		
プロセス状況 (データ収集) 起動 (停止) (停止(クリア))		
PD Emitter:稼働中 ( PID : 2798)		
PD Handler: 稼働中 ( PID : 2832)		
プロセス状況 (ユーザー定義)		
1 : dhepd : 繆働中 ( PID : 2537 )		

本装置のWEB UI にログインすると最初に表示される画面です。

ここでは OpenBlocks IoT Family のハードウ ェアリソースやネットワーク情報、後述のプロ セス状況等を表示します。

最新の情報を表示させるには更新ボタンを押 してください。

# 第4章 SMS コントロール

本装置は一部のモバイル回線モデムモジュールにて SMS をサポートしています。

(モバイル回線契約に SMS 機能が無い場合、サポートできません。)

SMS とは、携帯電話で使えるショートメッセージサービスで、最大約 70 文字前後のメッ セージを相手の電話番号向けて送信する機能です。本装置が通常使用しているデータ通信 とは異なります。

本装置では、特定のキーワードの SMS を受信することによってデータ通信を開始・停止や シェルスクリプトの実行を行うことが出来ます。

※LTE モジュール(KDDI)では利用できません。

## 4-1. SMS コントロールの起動設定

SMS コントロールはモバイル回線を使用されている方向けの機能です。 モバイル回線の設定については「3-3-1. モバイルルーター構成」、サービスネットワーク(モ バイル回線)の項を参照ください。

#### サービスネットワーク(モバイル回線)

#### 自動接続:

この設定はどちらでも構いません。

尚、SMS コントロールにてモバイル回線を接

続した場合には、網側から回線切断された場合

- には、再接続は行われません。

#### SMS コントロール:

ここを「有効」を設定。

#### 制御用電話番号

SMS コントロールを「有効」に設定すると、 表示される項目です。

ここにはSMS 制御をするスマホ等の電話番号

を入力します。ここに設定した電話番号以外からの SMS は無視されます。

市街局番からの電話番号を入力します。

尚、プライベート回線用のSMSでは4桁等の

短い場合があります。

必ず入力してください。

#### サービスネットワーク (モバイル回線) (?)

使用設定	◉ 使用する ◎ 使用しない
APN	(00000000 C
ユーザ名	(xxxxxxx@xx
パスワード	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
認証方式	(PAP •
自動接続	● 自動接続する ◎ 自動接続しない
通信確認用ホスト (?)	\$.8.8.8
モバイル回線再接続時間[min] ( <u>?</u> )	(1200
SMSコントロール (?)	◎ 無効 ● 有効
制御用電話番号 (?)	090xxxxxxxx

# 4-2. SMS コントロールのコマンド

SMS コントロールには以下のコマンドが組み込まれています。

コマンド	コマンド内容	備考
CON	モバイル回線を接続する	
COFF	モバイル回線を切断する	
SSHON	SSH を開放する	SSH 解放後に OS を再起動すると自動的に閉鎖さ
	SSH を閉鎖する	れます。再起動までは SSH 解放状態となるため、
SSHOFF		利用後は閉鎖してください。
REBOOT	システムを再起動する	
	ユーザースクリプトをバッ	WEB UI の拡張タブにあるスクリプトエディタで
USCR1~USCR5	クグラウンドで実行する	編集可能です。
	ユーザースクリプトをフォ	登録方法については「4-4. SMS ユーザ定義スクリ
USCRIF~USCR5F	アグラウンドで実行する	プトの登録」を参照してください。
	オンラインのアップデート	インターネット環境につながっていない場合には、
	処理を実行します	失敗します。
STUNNEL	SSH トンネルを構築します。	

# 4-3. SMS での複数コマンド送信

1回のSMSで複数のコマンドを一括で送信可能です。

"CON", "COFF", "SSHON", "SSHOFF", "USCR1F"~"USCR5F", "UPGRADE"はフォアグ ラウンドで実行されるので、SMSの送信文字列でたとえば以下のように"+"でつなぐと順次 実行されます。

例 1)

CON+USCR1F+USCR2F+COFF : モバイル回線を接続、スクリプト1実 行、スクリプト2実行、モバイル回線を 切断。

例 2)

CON+SSHON	: モバイル回線を接続してから SSH を開放しま
	す。
SSHOFF+COFF	: SSH を閉鎖してからモバイル回線を切
	断します。

※"USCR1"~"USCR5"及び"STUNNEL"はバックグラウンド実行になるため、並列処理になります。

# 4-4. SMS ユーザ定義スクリプトの登録

ユーザが定義したスクリプトを WEB UI にて登録・編集が出来ます。尚、本機能は Linux のシェルスクリプトをご自身で作成できる方向けの機能です。スクリプトの実施内容につ いては弊社サポート対象外となります。

スクリプト作成及び編集は「拡張」タブ内にあるスクリプト編集にて行います。

_	<u>スクリプト編集</u>
OpenBlocks® loT	スクリプトの種類:
クタシュポード サービス システム ネットワーク メンデナンス 煎落 技術情報	プルダウンメニューから編集するスクリプト
注意 本本紙はユーザー発生で来たとなります。そのため、米市する内容にないて注意してください。 スクリプト構成 「ロマンドが行った」「などつマンドがな	を選んでください。
スクリプト編集	_ この中にある「起動スクリプト」には本装置の
スクリプトファイル編集(2) 起動スクリプト ・ #blonbash ユーヴ・重要スクリプト1	OS起動時に自動実行させるスクリプトを記述
iptables - A INPUT-p-txp-dport22 + ACCET <u> 支援スソップトに</u> ユーザー 支援スソップトは ユーザー 支援スソップト5	することが出来ます。
	尚、起動スクリプトに記載されたスクリプトは
	バックグラウンドで実行されます。
	この欄にスクリプトを記述します。
スクリプト編集 コマンド実行 SMSコマンド実行 SMS送信 PD Subscriber	このスクリプト例では各アプリケーションの
スクリプト編集	- アップデートが行えます。 但し、インターネッ
スクリプトファイル種類(2) ユーザー定義スクリプト1 ▼	ト環境内です。
#Vbin/bash	(各アプリケーションのセキュリティアップデ
apt-get -yforce-yes dist-upgrade	ートは頻繁に行われる為、おすすめのスクリプ
	トです。)
	スクリプトが完成したら画面左下側にある保
操作	存ボタンを押してください。
	•
1本1子 / 削哧 /	また、不要なスクリプトは削除ボタンにて消去

※上記の参考例では、遠隔地にある本装置に対して SMS 経由による OS パッチを当てる内 容となっております。

# 4-5. SMS コントロールコマンドのダイレクト実行

本装置に登録されたSMSコントロールコマンドは通常携帯電話で命令を発行し実行させま すが、WEB UI からも直接実行させることが出来ます。

クリナト編集 :	177年東行 SMS	ロマンド実行 PD Subsc	riber			
SMETTER (FRE						
30134777	,					
通信メッセージ						
コマンド一覧						
	SET	CON	CONTROL	COMMAND		
		COFF				
	X	SSHON				
	0	SSHOFF				
	0	USCR1				
	0	USCR2				
	0	USCR3				
	0	USCR4				
	0	USCR5				
	0	USCR1F				
	0	USCR2F			 	
	0	USCR3F				
	0	USCR4F				
	0	USCR5F				
		REBOUT			 	
		Pronult				
操作						

#### <u>SMS コマンド実行</u>

#### 送信メッセージ:

ここへ疑似的に送信する SMS コマンドを入力 します。

## <u>コマンド一覧</u>

SMS コマンドの一覧の SET 部を選択すると 送信メッセージに対象のコマンドが追加され ます。2 個目以降については自動で"+"が挿入 されます。

※"CON"及び"COFF"はモバイル回線を「使用 する」に設定している場合にのみ表示されま す。

## <u>操作</u>

## 保存ボタン:

送信メッセージに入力されたコマンドを本装 置に疑似送信します。

#### クリアボタン:

送信メッセージの中身を消去します。

# 第5章 BT デバイス関連

本装置が IoT デバイスとして標準サポートしているインターフェースは BT です。

BT は旧仕様のものと、新仕様の BLE(BT Low Energy)があります。

本装置は旧仕様 BT では SPP(シリアル通信デバイス)をサポートしており、本装置をシリア ル通信の踏み台としてインターネット経由の SSH を SPP デバイスにリダイレクト可能で す。

また、BLE 通信でセンサーデータを送受信する GAT プロファイルをサポートしており、温度や湿度等のセンサーデータを標準的なやりとりでスキャンできます。但し、センサー毎 にデータ・フォーマットが異なるため個々のサポートが必要になります。

**OpenBlocks IoT Family** ではこのようなセンサーのサポートを順次追加していきます。(最新のサポート情報は当社 WEB サイトを参照してください。)

# 5-1. BT サービスの起動

BT デバイスをサポートする場合、「基本」タブでそのサービスをアクティブにします。 (OpenBlocks IoT VX1 では標準で BT サービスが稼働しています。)

		ス 拡張	AirManage	技術情
基本 的测速	LEメンテナンス 状態			
вт				
使用設定	● 使用する ◎ 使用しない			
-				
テーダ収集				
データ収集	● 使用する ◎ 使用しない			
ペイロード付与(PD Adder)	● 使用する ◎ 使用しない			
PD Handler BLE	● 使用する ◎ 使用しない			
PD Handler PLC Client	● 使用する ◎ 使用しない			
取得PLC対象数	0 •			
PD Handler PLC Server	● 使用する ◎ 使用しない			
Modbus使用設定	(無効 <b>*</b>			
シリアルPLC数	0 •			
追加Unixドメインソケット	数 0 •			
ユーザーHandler使用設定	● 使用する ◎ 使用しない			
ユーザーHandler起動コマ	7<			
ユーザーHandler停止コマ	728			
PD自動再起動設定	● 使用する ◎ 使用しない			
PD再起動時刻	(#E ▼ 00 ▼ 00 ▼			

※拡張モジュール搭載の場合

#### **OpenBlocks**<sup>®</sup>**IoT**

BI		
使用設定	2	● 使用する ○ 使用しない
UART		
使用設定	E	● 使用する ◎ 使用しない
データ	収集	
	n en	
テータル	(集	● 使用する ● 使用しない
~10-	- 下何与(PD Adder)	●使用する●使用しない
	PD Handler BLC Client	●使用する●使用しない
	Portanuler PEC client	© 100 H 9 5 € 100 H U/201
	取得PLC刘泰致	
	PD Handler PLC Server	● 使用9 る ● 使用しない
	Modbus使用設定	無効・
	シリアルPLC数	0
	PD Handler UART	<ul> <li>● 使用する ● 使用しない</li> </ul>
	追加Unixドメインソケット数	0
	ユーザーHandler使用設定	● 使用する ● 使用しない
	ユーザーHandler起動コマンド	
	ユーザーHandler停止コマンド	
PD自動	再起動設定	● 使用する ◎ 使用しない
	PD再起動時刻	毎日▼ 00▼:00▼

## <u>BT</u>

#### 使用設定:

「使用する」を選択します。

「使用する」を選択し、保存すると「BT 関連」 「BLE メンテナンス」「状態」タブが追加され ます。

#### UART (拡張モジュール搭載時)

## 使用設定:

UART(拡張モジュール)を使用する場合は、 「使用する」を選択します。

「使用しない」を選択します。

## <u>データ収集</u>

#### データ収集:

BT デバイスからセンサーデータ等を本システ ム標準の自動収集機能を利用する場合には「使 用する」を選択します。

「使用する」を選択し保存すると、「収集設定」 「収集ログ」タブが追加されます。(SPP デバ イスサポートのみの場合は「使用しない」を選 択してください)

センサーの登録等が完了するまでは、「使用し ない」状態のまま先に進んでください。

#### ペイロード付与(PD Adder):

センサーデータ等を本システム標準のデータ のみ以外を追加する場合に使用します。 通常では「使用しない」を選択します。 ※詳細については、データ収集ガイドを参照し てください。

#### PD Handler BLE :

弊社用意の BT デバイスからデータを取得す るアプリケーションの使用設定です。

本ドキュメントでは、「使用する」を選択しま す。

#### PD Handler PLC Client :

PLCマスター機器としてPLC機器へ接続しデ ータを取得する場合、「使用する」を選択しま す。

本ドキュメントでは、「使用しない」を選択し ます。

#### 取得 PLC 対象数:

PD Handler PLC Client のデータ取得 PLC 対 象数を設定します。

取得 PLC 対象数とは、PLC 機器の数ではなく PLC 機器群からデータを取得するための設定 の組み合わせの数です。 例えば単一の PLC 機器であっても、読み込みたいデータが複数の アドレス空間に点在している場合等、読み込む ための設定は複数となります。

使用しない場合は"1"で問題ありません。

#### PD Handler PLC Server :

PLCスレーブ機器として PLC 機器からの接続 を待ち受けデータを受け取る場合、「使用する」 を選択します。

本ドキュメントでは、「使用しない」を選択し ます。

#### Modbus 使用設定:

PD Handler PLC Server について Modbus Ether で接続を待ち受ける場合は、「有効」を 選択します。

### シリアル PLC 数:

PD Handler PLC Server についてシリアル 接続する PLC 機器の数を設定します。

#### PD Handler UART :

弊社用意の UART 系デバイスからデータを取 得するアプリケーションの使用設定です。 本ドキュメントでは、「使用しない」を選択し ます。

追加 Unix ドメインソケット数:

ユーザー作成のデータ収集ツール向けの Unix ドメインソケット作成数を選択します。

使用しない場合は"0"で問題ありません。

ユーザーHandler 使用設定:

ユーザー作成の Handler を使用するかを選択 します。

本項目を"使用する"を選択し保存した場合、後 述の起動コマンド及び停止コマンドが実行さ れますので、追加 Unix ドメインソケットの設 定を適宜設定後に適用してください。

ユーザーHandler 起動コマンド:

ユーザーHandler 起動用のコマンドを指定し ます。

DAEMON 等のバックグラウンドプロセスと なる必要がありますのでご注意ください。尚、 複数の Handler を用いる場合にはシェルスク リプトをラッパーとして被せて実行してくだ さい。

ユーザーHandler 停止コマンド:

ユーザーHandler 停止用のコマンドを指定します。

DAEMON 等のバックグラウンドプロセスを 停止させる必要がありますのでご注意くださ い。

#### PD 自動再起動設定:

弊社用意のデータ収集ツールを自動で再起動 するかを選択します。

## PD 再起動時刻:

データ収集ツールの再起動曜日、時刻を設定し ます。 以上を設定し「保存」ボタンを押してください。

各サービスの設定タブはそれぞれ「使用する」を選択し、「保存」ボタンを押した後に表示 されます。

## 5-2. BT デバイスとのペアリング

**OpenBlocks**<sup>®</sup>**IoT** 

BT関連 BLEメ)

BTデバイス検出
検出

検出)

アドレス

ユーザーメモ

操作

BLEデバイス検出時間(秒) (15

**ユボード**サービス

BT & BLE(?)

BLEデバイス検出

操作

保存

一覧

デバイス番号

「BT 関連」タブで BT デバイスとのペアリングを行います。

#### <u>BT</u>

## **BT** デバイス検出:

「検出」のボタンを押すと周囲に存在する BT デバイスを一覧に表示します。

一覧の中から利用するデバイスの使用設定に チェックを入れることでペアリングが実行さ れます。ペアリング完了後に保存ボタンを押す ことで登録されます。

#### BT LE デバイス検出時間:

BLE デバイスを検出する時間を設定します。 (通常はデフォルトのままで構いません)

#### BT LE デバイス検出:

「検出」のボタンを押すと周囲に存在する BLEデバイスを一覧に表示します。

一覧の中から利用するデバイスの使用設定チ エックを入れ保存ボタンを押すことで登録さ れます。

※BLE ではペアリングは行われません。

センサーデータの取り込み対象となるのみ です。

ここで BT デバイスを登録後、「Memo」フィールドにてデバイスを識別できるように情報 を記述することを推奨します。

penBlock	s® IoT	ログ	イン ID: admin (権限: ジ	スーパーユーザー) <u>マイハ</u>	
<b>シュボード</b> サービス	システム ネッ	トワーク メンテナンス	拡張	AirManage	技術
STA BT	E BTREE 6	LEXンテナンズ #1	E		
BT & BLE(?)					
BTデバイス検出	検出)				
BLEデバイス検出時間(	(15				
BLEデバイス検出	検出				
操作					
保存					
一覧					
デバイス番号	アドレス	ユーザーメモ	操作		
dev_le_0000001	DB:C5:F4:87:62:F9	F_No16 5800	削除		
dev_le_0000002	D0:95:01:A6:C3:6A	F_No04 5600	削除		

#### <u>一覧</u>

デバイス番号:

本装置が自動的に検出されたデバイスに番号 を付けます。 アドレス:

BT でアクセスする時のアドレスです。

#### ユーザーメモ:

登録する際の画面で「Memo」というフィール ドに書き込まれた内容が表示されます。

## 操作:

登録対象から外す場合、「削除」を押してくだ さい。

# 5-3. 登録デバイスとの Memo 編集

デバイスが1個以上登録された場合、「BT 編集」タブが追加されます。

登録したデバイスの Memo フィールド後から 編集する時や削除する場合、「BT 編集」タブ から操作を行ってください。 Memo フィールド部にはデバイスを識別しや

すい情報を設定した方が削除等の際に便利に なります。

ボード	サービス	システム ネット!		レス 拡張		irManage
基本	втра	BTHE	メンテナンス	状態		
BLEデノ	イス					
全選択)	選択対象削除	)				
	項目		内容		操作	削除对象
Ŧ	バイス番号	dev_le_0000001				
De	evice Address	DB:C5:F4:87:62:F9			〕削除」	
M	emo	F_No16 5800		)		
デ	バイス番号	dev_le_0000002				
De	evice Address	D0:95:01:A6:C3:6A			(削除)	
M	emo	F_No04 5600				
Ŧ	バイス番号	dev_le_0000003				
De	evice Address	5C:31:3E:C1:1D:64			削除)	
M	emo	CC2541				
_						
桑作						

編集内容を反映させるには「保存」ボタンを押します。

## 5-4. データ収集設定

「収集設定」タブでは各BTデバイスから情報を取得する設定が行えます。 本項については『OpenBlocks IoT Family 向けデータ収集ガイド』を参照してください。

# 5-5. PD Exchange とアプリケーション、デバイス紐付け

PD Exchange(別売り)はセンサーデバイス毎に複数のアプリケーションへデータを供給する機能を持ちます。

本項では PD Exchange サーバを利用する際に必要となる、PD Exchange 側へ登録したア プリケーションと、本装置に登録済みのデバイスとの紐付け方法について説明します。



「PD Exchange」タブにて以下を実施します。

OpenBlocks <sup>®</sup>	loT	ログイン ID: i	admin (権限: スーパ	(ーユーザー) <u>マイベ</u>	<u>-ジ ログアウト</u>
<b>ッシュボード</b> サービス	システム ネットワーク >	シテナンス	拡張	AirManage	技術情報
基本 REXンデナンス 状態	収集ログ PD Exchange(PD	)) BTELIA	BTASE		
PD Exchange(PD) (?)					
デバイス番号	device_beacon •				
デバイスID	03.64d720.mm				
アプリケーション名	(kanoh0:pdview_lite_0	生成)生成終	7		
チャネルID一覧	取得)取得完了				
アプリケーショ kanoh0:pdview_lite	1 <b>∑ 4</b> 0 44167a28b9284775bf8218	チャネルID 568d9b3948	( <del>5</del> 774	NUD削除)	

## デバイス番号:

紐付けしたい登録されたデバイスをプルダウ ンメニューで選択します。

#### アプリケーション名:

PD Exchange に予め登録されたアプリケーションを指定して「生成」ボタンを押します。
 PD Exchange に未登録のアプリケーション名を指定するとエラーになります。

#### チャネル ID 一覧:

「取得」ボタンを押すと、紐付されたデバイス とアプリケーションのチャネル ID が表示され ます。

作成したチャネル ID を削除する場合には、「チャネル ID 削除」ボタンを押してください。

## 5-6. 収集ログ確認

本項までの設定が完了するとデータ収集できる状態になっており、既に受信ログや各送信 先へのデータ送信が始まっています。

各動作ログ等は「収集ログ」タブから WEB クライアント側にダウンロードすることが出来 ます。

シスボード         サービス         シスガム         キャック・ウンデナンス         EG         Althouge         Edd                ・グロンス             ・ 「マンス             ・ 「ア             ・ 「ア		101	イン ID: admin (恒限: スーパーユーザー) <u>マイページ</u> ログ	<u>収</u> 3
34       00000       01000       01000       01000       7         19927777       000       000       00000       00000       00000       00000       00000       00000       00000       00000       00000       00000       00000       000000       000000       000000       000000       000000       000000       000000       000000       000000       000000       000000       0000000       0000000	<b>ルユボード</b> サービス	システム ネットワーク メンテナンス	拡張 AirManage 技術的	
wttack         wttackk	基本 収集設定	収集ログ PD Exchange(PD BT開)	BINESSE	プノ
ログ部駅         単位した色の支援にします。         ●	収集ログ			し
d-shandle-ypic-dentiog pd-handle-ypic-ypic-dentiog pd-handle-ypic-dentiog	ログ選択	違択したものを表示します ■ 違択したものを表示します ndemilter.life.log		各日
DPCEDBIOCKS® DOT       D72 / D semm (NEE 2-/-(-2-7-) 2/C/-2) D2/7/2         DXX-1       U-L2       DX7 / D V/D X X/X (E)       AMAnose       AMAnose       AMAnose         DXX-1       U-L2       DX7 / D V/D X X/X (E)       AMAnose       AMAnoose       AMAnose       AMA		pd-handler-pic-server.log pd-handler-pic-server.log pd-handler-stdout.log	Version 2.1.0	
CALL     サービス     システム     キャトワーク     メンチナンス     低     ベルのの     ベルの     ベルのの     ベルのの     ベルの     ベル     ベルの     ベルの     ベルの     ベルの     ベルの     ベルの     ベル     ベル     ベル     ベルの     ベルの     ベルの     ベル     ベル     ベル     ベル     ベル     ベル     ベル     ベル	penBlocks®	IoT	イン ID: admin (権限: スーパーユーザー) <u>マイページ</u> ログア	<b>ロ</b> :
	<b>シュボード</b> サービス	システム ネットワーク メンテナンス	拡張 AirManage 技術情	• 全 <sup>·</sup>
	At Chart	収集ログ PD Exchange(PD) BT開放	E BTALL	
				Ľ
□ / BR         □ / Analder-stroutulog         ● / クランロード         □ 目動支新/1005%3(a)           0071-62:0112:05:51 861 [NNO] 6d-handler - strot hat2         □ / 022112:05:51 861 [NNO] 6d-handler - strot hat2         □ / 022112:05:51 861 [NNO] 6d-handler - strot hat2           0071-62:0112:05:51 861 [NNO] 6d-handler - strot hat2         □ / 022112:05:51 861 [NNO] 6d-handler - strot hat3         □ / 022112:05:51 861 [NNO] 6d-handler - strot hat2           0071-62:0112:05:51 861 [NNO] 6d-handler - strot hat2         □ / 022112:05:51 / 021 [NNO] 6d-handler - film · / 0017-62:1         □ / 02112:05:51 / 021 [NNO] 6d-handler - film · / 0017-62:1           0071-62:0112:05:57 / 721 [NNO] 6d-handler - film · / 0017-62:         □ / 02112:05:57 / 021 [NNO] 6d-handler - film · / 0017-62:1         □ / 02112:05:51 / 021 [NNO] 6d-handler - film · / 0017-62:1           0071-62:0112:05:57 / 721 [NNO] 6d-handler - film · / 0017-62:         □ / 02112:05:51 / 021 [NNO] 6d-handler - film · / 0017-62:1           1071-62:0112:05:58 / 441 [NNO] 6d-handler - film · / 0017-62:1         □ / 02112:05:58 / 021 [NNO] 6d-handler - film · / 0017-62:1           1071-62:01:02:05:7 / 721 [NNO] 6d-handler - film · / 0017-62:1         □ / 02112:02:58 / 021 / 001 · 00	LEメンテナンス 状態			し、ス
21112.06.16.466+09.00","deviceld"."Moab54010369","appendixInfo","FAE00859","ssi"-87}	LEXンデナンス 秋日 収集ログ ログ選択	[pd-handler-stdout.log ・] ダウ:	>ローケ) 自動更新(308階編)	ス
[2017-02-21 12:06:23.931] [INFO] pd-handler - ("ime":"2017-02- 21T12:06:23.928+09:00";"deviceId":"4413190723b4";"appendixInfo":"FAE00859";"rssl":-100}	transition         で集ログ         の74年の         の24年の         の14年の         の14年の	pd-handler-stdoutlog         9/27           op handler-stdoutlog         9/27           op handler-stdoutlog         9/27           op chandler-nich pd-handler         0           op chandler-stdoutlog         7           op chandl	20-下) ■ 目記更新(30時間項) al <sup>-</sup> -82) al <sup>-</sup> -82) al <sup>-</sup> -82) al <sup>-</sup> -99) al <sup>-</sup> -921 al <sup>-</sup> -92	L' ス

グ

択:

ウンメニューから表示するログを選択

種類は後述を参照してください。

選択すると、その一部が表示されます。 見るためにはダウンロードボタンを押 ローカルディスクにログを保存し、テキ ディタにて確認できます。

ファイル名 プレフィックス	内容
pd-emitter	クラウド等への送信した際の結果ログファイル。
	各種デバイス等向けの Handler からの取得データへの付与設
pd_adder	定ログファイル。
pd-handler-stdout	BLE デバイス向けの Handler ログファイル。
	本製品周囲に存在しているビーコンのログファイル。各種フィ
pd-handler-local-beacon	ルタを設定していた場合には、フィルタ適用後の情報となりま
	す。
a d h an dlan anant	Wi-SUN や EnOcean 等の拡張モジュール向け Handler ログフ
pa-nanaler-uart	アイル。

ファイル名 プレフィックス	内容
pd-handler-plc	PLC 向けの Handler ログファイル。

## 5-7. センサーデータ確認

「データ表示」タブは BLE センサーデータがどのように取れているかチェックするための 表示ページです。

センサーデータはセンサー毎に直近20件を表示します。



◎ 表示する 🖲 表示しない

● 表示する ◎ 表示しない

I2464111936 \_NO8X 015-09-28T13:33:56.936+0

20742

002+0---F\_NO8X 2015-09-28T13:34:06.95

デバイス番号 グラフ表示

テーブルデータ表示

time temper accelX accelY accelZ

devicele memo time tempere accelX accelY accelZ

deviceld memo time

accelX accelY

更新

グラフ表示例

「再描画」ボタンで最新データから20件のグ ラフ化します。

温度、湿度毎に対応していない項目の場 合、"0℃"または"0%"として表示されます。

本グラフはセンサーのデータ収集の取得時間 間隔を元に表示しています。スケールが合わせ ないセンサーについては、取得間隔を調整して ください。

テーブル表示例

「更新」ボタンで表示している内容を最新デー タへ更新できます。



# 5-8. BLE デバイスの設定情報をエクスポート/インポート

ペアリングを必要としない BLE デバイスの設定情報は、他の OpenBlocks IoT Family で も利用な為、その設定情報を json ファイルとしてエクスポート/インポート可能です。

OpenBlocks® lo	<b>T</b>	× ID: admin (権限: スーパーユーザー) <u>マイペー</u>	2 <u>ログアウト</u>
ダッシュボード サービス シス	ステム ネットワーク メンテナンス	拡張 AirManage	技術情報
また 取用設定 BLEメンデナンス  状態	収集ログ PD Exchange(PD B1版連	BTMUE	
BLEメンテナンス	(業件)		_
インボート(2)	Choose File No file chosen	東行	
C) 2015 - 2017 PlatHome Co., Ltd. All rights re	aserved.	Version 2.1.0	
I bledevices.json ^		St	iow all X

{	"।	D4:D4:64:B2:8F6A":{
		"LOCAL", "NODE-RED" ],
		"PD_EXCHANGE":{ "suffix": "64b28f6a" }
		AWS_UI_; 'd4d464b28f6a", "client_id': "d4d464b28f6a", "topic": "d4d464b28f6a", "cort.path": "¥/vark/webuik/upload_dir¥/d4d464b28f6a¥/cert.pem", "privatekey_path": "¥/vark/webuik/upload_dir¥/d4d464b28f6a¥/privatekey.pem"
		<pre>// WATSON.DEVICE :: {</pre>
		<sup>#</sup> WATSON.GATEWAY": {
		"MS_EVENT_HUBS"::{ "hubs_name":"," "sas_policy::""," "sas_key":""
		<sup>1</sup> / MS_IOT_HUB" : {
		<sup>#</sup> TOAMI_FOR_DOCOMO": {
		<sup>#</sup> MQTT":{
}	}	

#### エクスポート:

本装置に登録されている BLE デバイスの設定 情報を json ファイルにエクスポートします。 実行ボタンを押すとダウンロードを開始しま す。

ダウンロードファイルは WEB クライアント 側のストレージに保存されます。

## インポート :

「ファイル選択」ボタンを押しWEBクライア ントに保存されている json ファイルを選択 し、実行ボタンを押すとインポートが始まりま す。

json ファイルの表示例です。 ※WEB UI のバージョンにより、出力内容が 異なります。

	র <mark>୬.२</mark> न	ム ネットワ-	ーク メンテナン	2ス 拡張	AirManage	• 扱
信先に関する付随情報 み込みデバイス件数 ラー対象デバイス件	8は表示していませ : 3 故: 0	:hu.				
## (	ULEYE O	集ログ PD Exe	:hange(PD) E			
x/> =+> =	45.08					
****	大臣					
BLEメンテナンス						
		(PC)				
エクスボート (2)						
インポート(?)		Choose File	No file chosen	実行 )		
候存		保存)				
保存 アドレス	بد	保存 一ザーメモ	送信对象	送信先設定	センサー 信号強度 [dbm]	取得時間 開稿[ms]
保存 アドレス DB.C5:F4:87:62:F9	<u>ع</u> ۲_No16 5800	(∰7) -ザ-⊀モ	送信对象 faite	送信先認定 LOCAL MS_EVENT_HUBS MS_IOT_HUB TOAMLFOR_DOCOMO MOTT	センサー 信号強度 [dbm] 0	取得時間 開稿[ms] 15000
保存 アドレス DB:CS:F4:87:62:F9 D0:95:01:A6:C3:6A		-Ÿ-XE	送信对象 false	送信先過定 LCCAL MS_EVENT_HUBS MS_TOT HUB MOTT LCCAL MS_TOT HUB MOTT TOALI FOR_DOCOMO MOTT	センサー 信号速度 [dbm] 0	取(得時間 開降(ms) 15000 15000

json ファイルをインポートすると、json ファ イル内容が表示されます。 問題がなければ、「保存」ボタンを押します。 これにより、登録が行われます。

# 第6章 シリアル通信リダイレクト機能

シリアル通信リダイレクト機能とは、本装置へ接続される RS-232C/RS-485 インターフェ ース、または BT SPP デバイスの通信データを遠隔にあるシリアル通信端末にリダイレク トする機能です。

M2M のレガシーデバイスの多くは、保守・制御で必要な外部デバイスとの接続インターフ ェースには RS-232C や RS-485 等を使用しており、こう言ったデバイスの多くは設置場所 へ保守スタッフが出向き、PC 等を接続してログ収集やソフトウェアのアップデートが行わ れています。

本装置を利用すれば、このようなデバイスを現場に出向かなくてもインターネット経由で ダイレクト接続が可能となります。その際にはモバイル回線を利用できるので、お客様先 のネットワーク遠隔操作が実現します。



## 6-1. SPP デバイスのシリアル通信リダイレクト機能

ペアリングされた BT デバイスが SPP (シリアルポートプロファイル)タイプの場合、本装 置への SSH 経由のシリアル通信を BT デバイスヘリダイレクトできます。 先ず、この機能を利用するにはあらかじめ SSH ポートを利用可能な状態にします。

oenBlocks®	оТ	ログイン ID: admin (情語: 制造無し) <u>マイペー</u> う
エポード サービス	システム ネットワーク メンテナンス 認識 日	医诊病癖
BA ITH	パスワード フィルター SSI機論 マイページ	ファイル管理 ライセンス
SIN		
フィルター開放設定 🗎 高品牌	後もフィルク開放税面を有効にする (1)	
SSH	◎ 有23 ● 第23	
WEB UI(モバイル回線)	<ul> <li>● 有功 ● 無功</li> </ul>	
操作		
保存		
iptables表示		
iptables(IPv4)	◎ 表示する ⑧ 表示しない	
iptables(IPv6)	◎ 表示する ● 表示しない	
		Version 1 0 7dev7
		The addition of the second

WEB UI の「システム」タブを選び、さらに
 「フィルター」タブをクリックすると SSH の
 開放/閉鎖の設定が表示されます。

ここで有効を選択し、保存ボタンを押します。 これにて、SSH が利用可能になります。

また、SMS コントロールにて SSH を開放す ることもできます。



準備が出来たら TeraTerm 等の SSH 利用可能な通信ソフトで接続を開始します。 ここでは、ローカルネットワーク内を前提として解説いたします。

Tera Term: 新しい接	続
● TCP/ĮP	ホスト(T): 172.167.221 マレストリ(Q) サービス: ○ Telnet ● SSH SSH/バージョン(V): SSH2 ・ ○ その他 プロトコル(C): UNSPEC ・
◎ シリアル( <u>E</u> )	ボート(R): COM1: 通信ボート (COM1) ・
	ок キャンセル ヘルブ( <u>H</u> )

ここではローカルネットワーク内なので本装 置の LAN 内での IP アドレスを入力していま す。

あとは SSH を選択して OK ボタンを押し、認 証画面に入ります。

SSH認証	×
ログイン中: 172.16.7.221	
認証が必要です。	
ユーザ名( <u>N</u> ): spp	
バスフレーズ(P): ●●●●●●	
▼ パスワードをメモリ上に記憶する(M)	
□ エージェント転送する( <u>0</u> )	
◎ プレインテキストを使う(L)	
◎ <u>R</u> SA/DSA/ECDSA鍵を使う 秘密鍵( <u>K</u> ):	
○ rhosts(SSH1)を使う ローカルのユーザ名(山): オフト5番(丘)	
◎ チャレンジレスポンス認証を使う(キーボードインタラクティブ)(C)	
◎ P <u>a</u> geantを使う	
OK 接続断( <u>D</u> )	

認証画面でユーザ名は「spp」とします。 パスワードは、本装置に設定してあるデフォル トの root パスワードと同じです。 ※このパスワードは WEB UI から変更できま

せん。

認証方式はブレインパスワードを選択してく ださい。

認証の設定が終わったら OK ボタンを押して 接続を開始します。

「spp」ユーザでのログインに成功すると、シ リアル通信のリダイレクトメニュー画面が表 示されます。

ここで、注意して確認してする箇所は、「5·2. BT デバイスとのペアリング」でペアリングし た BT デバイスがちゃんとプローブできてい るかです。

"Test probe to BT devices."の次の行に表示 されているのが検出されたデバイスで、例えば デバイスの電源が入っていない場合などは" fail"になります。

ここで"done"と表示されていれば接続可能 です。

また、ペアリングされアクティブな BT デバイ スが複数あれば、数行にわたってリストされま す。

ここではメニューの1を選択します。



64/98



次の画面で接続可能なデバイス一覧がでるの で接続相手を番号で選びます。

相手を選ぶと次の画面を表示して minicom に よるリダイレクトが始まります。

**CTRL**-A を入力し、Z を入力すると minicom の Help がでます。

また、minicom を終了する時はヘルプに従っ てください。

終了する時にはメニューに従ってトップメニ ューまで戻ってから Exit してください。 Exit にはモバイル回線を同時に切断する選択 もあります。

以上の手順で SPP デバイスとのダイレクトな シリアル通信が可能なので、例えば TeraTerm スクリプトや Linux などのシェルスクリプト を組み合わせてデータ自動収集などにも応用 できます。

き 172. ファイル	16.7.221:22 - Tera Term VT レ(E) 編集(E) 設定(S) コントロール(Q) ウィンドウ(W) ヘルプ(E)
Welco	Minicom Command Summary
UPIIU Compi Port	Commands can be called by CTRL-A <key></key>
Press	Main Functions Other Functions
	Utaling directoryD run script (Go)G [Clear Screen Send filesC Receive filesR [Onfigure Minicom0 comm ParametersP Add linefeedA [Suspend minicom] Capture on/offL HangupH eXit and resetX send breakF initialize ModenM [Out with no reset.0 Terminal settingsT run KermitK [Oursor Key mode] IneWrap ovoffW [Ocal Echo on/offE   Help screenZ Paste fileY Timestamp toggleN   scroll BackB Add Carriage RetU
	Select function or press Enter for none.
CTRL-A	Z for help   115200 8NI   NOR   Minicom 2.7   VT102   Offline   rfcomm0 🔽

# 6-2. RS-232C シリアル通信リダイレクト機能

本装置のシリアル通信リダイレクト機能は、BT 相手だけではなく、本装置の有線インター フェース RS・232C ポートのリダイレクトも可能です。



操作方法は、6.1.項とほぼ同様で、SSH 開始後 の最初のシリアル通信のリダイレクトメニュ ーの2にある

" 2. Connect to serial port (/dev/S4)"

を選択すると RS-232C ポートへのリダイレク トが始まります。

なお、シリアル通信速度はデフォルトでは 115200bps に設定してあるので、必要に応じ て設定を変更してください。

# 第7章 AirManage 機能

AirManage は遠隔地に配備した OpenBlocks IoT Family を管理する機能です。

AirManage はインターネット上に用意している AirManage リモート管理サーバと各 OpenBlocks IoT Family 間で通信を行い、各 IoT Gateway のコンフィグ管理等を行います。 また、AirManage の詳細機能やサービス加入等については、弊社営業へお問い合わせくだ さい。



# 7-1. AirManage 初回アクセス設定

AirManage サービスを使用する場合には、事前に AirManag リモート管理サーバ側に OpenBlocks IoT Family 個体を登録している必要があります。

登録後に各 OpenBlocks IoT Family がサーバに初回アクセスすることでは AirManage サ ービスが使用可能となります。

初回アクセスする為の設定は「AirManage」→「AirManage」タブから適用を行います。 ※本項での初回アクセスする際に用いるネットワークは「ネットワーク」→「基本」タブ を引き継ぎます。そのため、インターネット環境へアクセスする為の準備を事前に設定し てください。

※弊社、出荷時に Air Manage キッティングオプションを適用している場合には不要となります。

#### OpenBlocks® loT

Airmanage		
使用設定	● 使用する ◎ 使用しない	
aution) 設定を保存すると本圳	<b>眞目は適用されます。そのため、サービス有効状態のまま保存すると再適用されますのでご注意ください。</b>	
運用方法	● ゼロコンフィグ <sup>©</sup> サービス加入のみ	
サービス運用URL	https://airmanage00.plathome.co.jp //keys/download	
事相確認	121F	

#### <u>AirManage</u>

#### 使用設定:

AirManage サービスに参加する場合、「使用する」を選択してください。

また、サービスから解約する場合には「使用しない」を選択してください。

適用方法:

以下から選択してください。

●ゼロコンフィグ

AirManage リモート管理サーバからコンフィ グをダウンロードし適用します。

#### ●サービス加入のみ

AirManage リモート管理サーバへアクセスを 行うのみです。コンフィグは適用されません が、サービスに加入し各種機能が使用可能とな ります。

#### サービス適用 URL :

サービス加入の際に弊社から連絡のあった FQDN 情報をフォームに入力します。

#### 事前確認:

「確認」ボタンを押すことでノード側のネット ワーク及び設定している URL 情報を用いて、 AirManage サーバ側に登録されているか確認 可能です。

設定完了後に「保存」ボタンを押して下さい。また、再起動を行うことで初回アクセスを 行います。

# 第8章 設定項目別リファレンス

## Attension)

本章にて実施している 8.4 項及び 8.7 項パスワード設定はセキュリティ上重要です。その為、クラックされにくくなるようなパスワードを設定してください。

## 8-1. サービス制御・拡張機能の表示/非表示

本 WEB-UI は IoT 関連向けにカスタマイズされていますが、別の目的に本装置を利用の際、 サーバの基本設定部分のみ残し IoT サービス関連の WEB 表示を無効にすることが出来ま

penblocks		ログイン IO: edwin (建造: 制造用し)
シュポード サービス う	システム ネットワーク メンテナンス	1638 按按清朝
Bit Itil	/X27-F 24249- 88848	E語 マイページ ファイル管理
SATEXX BN		
機能募得(2)		
サービス検統	◎ 無効 ● 有効	
拉張稱能	◎ 無効 ● 有効	
プロセス状況表示(ユーザー定	義)	
プロセス状況表示機能(ユーザー定	(義) 🔹 無効 🔍 有効	
ストレージ管理(メール通知)		
セルフチェック	● 無効 ◎ 有効	
操作		
8m		

機能制御

サービス機能:

サービスタブを非表示にします。

### **拡張機能:**

拡張タブを非表示にします。

# 8-2. プロセス状況表示機能

ユーザの追加したプロセスや基本的なプロセスの監視を行えます。

oenBlocks® loT		ログイン ID: admin (種様: 制限目し) <u>マイページ</u> ログ
コポード サービス システム	ネットワーク メンデナンス	AL-38 (A)-40/1048
基本 詳細 パワ	ワード フィルター SS+載道	マイページ ファイル管理
5-12>2 8N		
38.25 \$\$\$\$\$(2)		
サービス機能	◎ 無効 ● 有効	
信張機能	○ 無効 ● 有効	
プロセス状況表示(ユーザー定義)		
プロセス状況表示機能(ユーザー定義)	○ 無効 ● 有効	
プロセス名1	Ehcpd	
プロセス名2		
プロセス名3		
ストレージ管理(メール通知)		
セルフチェック	● 無効 ○ 有効	
操作		
保祥		
		Version 1.0.6

プロセス状況表示

**プロセス状況表示機能(ユーザー定義):** 例えば dhcpd 等の監視したいプロセスを登録 しておくとダッシュボードにそのプロセスが 起動しているか表示されます。 最大3つまで登録できます。

# 8-3. ストレージアラート機能

定期的(1時間に1回)にストレージ容量をチェックし、閾値を超えた場合にメールで通知 させる機能です。ログ等によるストレージ容量の圧迫を監視できます

		303.205 2.7.191.04498
基本 詳細	バスワード フィルター SSI機道	マイページ ファイル管理
JTEXX SN		
機能制御(?)		
サービス機能	◎ 無劝 ● 有劝	
拡張機能	◎ 無効 ● 有効	
プロセス状況表示(ユーザー定義) プロセス状況表示機能(ユーザー定義	● 無劝 ○ 有効	
ストレージ管理(メール通知)		
セルフチェック	◎ 無効 ● 有効	
關值	§0 %	
SMTPサーバ: SMTPポート	25	SMTP Authを使う
送信元アドレス	(rom@example.com	
宛先アドレス	@@example.com	
テストメール	送信する	

#### ストレージ管理(メール通知)

セルフチェック:

本機能を使用する場合、「有効」を選択します。

閾値: デフォルト80%

アラートを上げる際の閾値です。

#### SMTP サーバ:SMTP ポート

メールサーバのアドレスとポートを入力。 SMTP Auth に対応したサーバを使用する場 合、チェックを入れます。

#### SMTP Auth:

「SMTP Auth を使う」にチェックを入れた場 合に表示されます。SMTP Auth 用のユーザ 名、パスワードを設定します。

#### 送信元アドレス:

メール送信の際の From アドレスを入力しま す。

#### 宛先アドレス:

メール送信の際の To アドレスを入力します。 テストメール:

設定した内容でテストメールを送信します。 メール本文の内容確認、設定に誤りがないかが 確認できます。

# 8-4. root パスワードの設定

本装置にSSHやシリアルコンソールでログインする際に利用可能なrootアカウントのパス ワードを変更できます。

penBlock	s® IOT	ログイン ID:	admin (種唱: 制限無し) <u>マイページ</u> ログ
シュボード サービス	システム ネッ	トワーク メンテナンス	拡張 技術情報
<b>基本 詳</b> 詳	パスワード	フィルター SSH観	
ライセンス			
rootパスワードの編集	i( <u>?</u> )		
ユーザ名	Foot		
パスワード			
パスワード (確認)			
操作			
保存)			
			Version 1.0.5

変更したいパスワードを確認欄と併せ 2 回入 カし、「保存」ボタンを押します。 本システムを利用する際には、セキュリティ確 保のために必ずデフォルトパスワードを変更 してください。

(!)	デフォルト root パスワード
	本装置のデフォルトの root アカウントのパスワードは 0BSI0T です。
	(2 つある 0 は数字です。)

## 8-5. フィルター許可

本装置の各フィルターを一時的、または再起動後等の恒久的に有効にできます。

#### フィルター開放設定

再起動後等も各フィルター開放を有効にする 場合には、チェックを入れて保存ボタンを押し ます。

## SSH:

SSH を使って本装置にログインする時にラジ オスイッチの有効を選択し保存ボタンを押し ます。

#### Node-RED

拡張機能の Node-RED にて設定を行う場合、 ラジオスイッチの有効を選択し保存ボタンを 押します。

#### WEB UI(モバイル回線):1

モバイル回線経由でのWEB UI アクセスをする際に、ラジオスイッチの有効を選択し保存ボタンを押します。

#### <u>iptables</u> 表示

#### iptables(IPv4) :

ラジオボタンを表示するに設定すると iptablesのIPv4の内容を表示します。

#### iptables(IPv6) :

ラジオボタンを表示するに設定すると iptablesのIPv6の内容を表示します。

① 各フィルター開放が不要になった場合、無効化を忘れないでください!!

pen.p.oens				ロジイン ID: somin (開設: スーパーユーザー) <u>ライバーク</u>	
ユポード サービス	システム キットワ	トゥーシンテナンス	拉法	技術情報	
8× 114	1129-1	7 <i>41</i> /3− 88 <b>HQ</b> ∎	71-19	WEB2-#-	
ファイル管理 ライセンス	SIN				
フィルター開始投空 🗌 🖬 10		L co			
SSH	201207117340322224130-3	<b>b</b>			
node red	○ 有効 ● 算	○ 有25 ● 第25			
WEB UI(モバイル回線)	● 有効 ● 舞	◎ 有効 ● 垂効			
操作					
(第77					
intables表示					
iptables表示 lptables(IPv4)	<ul> <li>● 表示する</li> </ul>	9 表示しない			

<sup>&</sup>lt;sup>1</sup> WEB UI へのアクセスは WLAN または Ethernet 経由でのアクセスのみサポートしてい ます。モバイル回線経由のアクセスはセキュリティ上、通常サポートしていません。


SSH は左図の通り、TeraTerm などのターミ ナルソフトで IP アドレスを指定してログイン します。

また、SSH をよりセキュアに運用するために は「8-6. SSH の鍵交換」で解説される公開鍵 の登録を行うことをお奨めします。

# 8-6. SSH の鍵交換

SSH をよりセキュアに使う為の設定画面です。



先ず、左画面のように TeraTerm などで公開 鍵・秘密鍵を生成します。 TeraTerm の場合、指定ディレクトリにこの2

つの鍵が保存されるので、そのうち公開鍵をテ キストエディタなどで表示し、コピーバッファ に保存してください。 設定箇所はシステム⇒SSH 関連タブとなります。

enBlocks®	оТ	ログイン ID: admin ()	<sup>重阻:</sup> 制限無し) <u>マイページ</u>
ュポード サービス	システム ネットワーク	メンテナンス	拡張 技
基本詳細	パスワード フィルタ	7— SSH関連	マイページ
アイル管理ライセンス	SIN		
SSH設定			
SSHポート番号	Q2		
rootログイン許可設定	● 許可 ● 禁止		
パスワード認証	● 許可 ◎ 禁止		
公開鍵 (2)			

### <u>SSH 設定</u>

SSH ポート番号:

SSHに使用するポート番号を設定します。

### **root** ログイン許可設定:

本装置にrootアカウントでのSSH ログインを 許可する場合に「許可」を選択します。

### パスワード認証:

SSH に鍵を使わずアクセスする場合は、パス ワード認証を「許可」します。

鍵を使った認証にする場合には、「禁止」を設 定します。

### 公開**鍵**:

前述の TeraTerm などで作った公開鍵を貼り 付けてください。

なお、鍵を使わない時には空欄にしておきます。

設定が完了したら「保存」ボタンを押します。

	SSH認証	-	• ×
ロジイン中、192.168. 認証が必要です。	254.254		
ユーザ名(N)	root		
パスフレーズ(P):	******		
	図パスワードをメモリ上に記憶する(M) □エージェント転送する(0)		
0ガレインパスワ	Fを使う(L)		
RSA/DSA/EC	DSA/ED25519線を使う 秘密線(K)	id,rsa	
C rhosts(SSH1)	(小) ローカルのユーザ名(い) ホスト線(F):		
〇チャレンジレス	ポンス認証を使义キーボードインタラクティブ	(C)	
○ Pagean/혼분5			
	OK 植感谢(D)		

以上の設定後、SSH での鍵付きのログインを 行ってください。 左画面は TeraTerm での接続例です。

## 8-7. WEB 管理者パスワード変更

WEB UI の管理者パスワードが変更できます。尚、ユーザ名の変更はできません。 設定箇所はシステム⇒マイページタブとなります。

OpenBloc	ks® loT		ログイン ID: adm	nin (種唱: 制限無し)	<u>マイページ ログアウ</u>
ダッシュポード サービ	スシステム	ネットワーク	メンテナンス	拡張	技術情報
基本	詳細 パスワー	ド フィルター	- SSHMM	<u>२</u> नぺ-:	5
54222					
登録情報の編集 (?)	)				
ユーザ名	a	dmin			
パスワード	C				
操作					
保存)クリア)					
				Ve	rsion 1.0.5

編集後、保存ボタンを押した時点で変更が有効 になります。

変更後はログインし直してください。

### 8-8. WEB ユーザー

WEB UI のログインユーザーの追加や、別のログインユーザーのパスワード変更(スーパー ユーザーのみ)が行えます。

設定箇所はシステム⇒WEB ユーザータブとなります。

OpenBloo	cks® loT		ログイン ID: admin (権限: スーパーユーザー) <u>マイページ</u> ログ
ッシュボード サー	<b>2</b> システム	キットワーク メンテナンス	<b>北張 扶術情報</b>
<b>11</b> (b)	7440		
<u>8</u> 4	## NXV	-F DRIVØ- SSHB	NDE AIX-> MERT-2-
ファイル管理	STEUR SN		
WED H - /2			
WEDI 7 (1			
2-7名			
パスワード	(		
バスワード(確認)	(		
権限		🖲 スーパーユーザー 🔍 閲覧ユーザー	
操作			
(872 ) 3 + 1/2			
	<u>/_rat</u>		
ユーザ名	権限	操作	
	That Pr		

ユーザ名、パスワード等を設定後、保存ボタン を押した時点で変更が有効になります。

### 8-9. ファイル管理

WEB UI を用いて OpenBlocks IoT Family 内の特定ディレクトリにファイルのアップロー ド等が行えます。

設定箇所はシステム⇒ファイル管理タブとなります。

#~_ # # # # # # #	シロテル ナルトローク パンテナショフ	11/1E 11/1/(21/2
		100100 SQ11110440
## <b>1</b> 11	パスワード フィルター SSH間道	マイページ WEBユーザー
ファイル管理 ライセンス	SN	
ファイル管理		
ファイル管理(?)		
🚰 files		*
4		× .
< 更新 ダウルード 削	發 移動 奥州榆门各 編集	
、 夏新 ( ダウノロード ) 削	8) B40 X114115 KX	
、 更新) ダウンロード ) 剤 ファイルドデ 山 クトリ管理	除。 移動 美行借付方 ( 編集 )	, ×
< 夏新) ダウンロード) 割 ファイル デ んしかり管理 ファコード	發〕 移動) 東州権行為 ( 編集 )	
、 夏新 〕 ダウンロード 〕 削 ファイルドテ ルクトリ管理 アップロード アップロード プンコージンショックスル (ス	在) 1980 (東行衛行名) 編集) (	, <b>*</b>
、 夏斯 <u>ダウンロード</u> 前 ファイルドテ <del>ルクトリ管理</del> アップロード アップロード プップロード プップロード	登 5580 東行権行為 画系) ( ファルルを選択 選択されてしません)	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
、 夏新) ダウンロード) 耐 ファイル/デ ルクトリ管理 アッカー・F アッカー・ド アッカー・ド サッカー・ド 100	8 1980 第17年175 第三 ( ファイルを進行 選邦されていません (	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
、 夏新) <u>少少スロード</u> 新 <b>ファイルドデ 4 つたり営業</b> <b>アップロード</b> フップロード 支ま 新規ファイル生成		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
・ 更新、ダウンロード 新 ファイルドティレクトリ管理 アップロード フップロード 主成 新規ディレクトリ生成 新規ディレクトリ生成	在 1946 東田福行各 編集 ( ファイルを進取 満知されていません	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
( 変新) <u>300ロード</u> アッ <b>1ル</b> ドテル <b>0ハ</b> 9世 アップロード シップロード 生成 新規デット小生成 新規デット小生成 新規デット小生成 新規デットの学生成 学校	後 580 東門権行為 編集	727-F)
<ul> <li>(夏新) ダウンロード) 割</li> <li>ファイル・ド・レクトリ管理</li> <li>アップロード</li> <li>アップロード</li> <li>アップロード</li> <li>生成</li> <li>新規ファール生成</li> <li>新規ファールシリ生成</li> <li>解除</li> <li>新鮮の (2)</li> </ul>	を 9秒 東行電行名 編集) 「 「 」 ファイルを選択 選択されていません	7/2-F)
( 夏新) ダウンロード) アッチルード レクトリ管理 アップロード アップロード 支援 新規デンイル生成 新規デンイル生成 解除 和静いな (ノポート/エクスポート	日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,

ダウンロード、削除、移動、実行権付与または 編集をする場合には、ファイルを選択し、ボタ ンを実行内容のボタンを押してください。

また、アップロードする場合には、「ファイル を選択」からアップロードするファイルを選択 後に「アップロード」ボタンを押してください。 尚、アップロード先は以下となります。

Dir:/var/webui/upload\_dir/

容量が 256MB を超えるファイルはアップロ ードが行えません。そのようなファイルをアッ プロードする場合にはSSHを有効にし、SFTP にてファイルをアップロードしてください。

新規ファイル及び新規ディレクトリ生成は、フ ァイルまたはディレクトリパスを入力し作成 します。また、/var/webui/upload\_dir/下にフ ァイル作成が可能です。(上位のディレクトリ 下には作成できません。)

ー括エクスポートは/var/webui/upload\_dir/下 の各ファイルー式を tar+gz 形式に圧縮したフ ァイルがエクスポートされます。

ー括インポートは/var/webui/upload\_dir/下に tar+gz 形式のデータを展開します。

benBlocks	◎ loT		ログインド	2: admin (種簡: 利限無し) <u>マイペー</u>	2 02
ュポード サービス	システム <mark>ネット</mark> り	ーク メンテナンス	松落 長川	行情報	
8.4 JTH	パスワード こ	マート・ SSH翻連	<b>マイページ</b>	ファイル管理	
ライセンス SN					
編集対象ファイル	/var/webui/up	load_dir/sample.conf			
# test					

ファイル選択後、編集ボタンを押した場合には 左図のように画面が表示されます。

編集内容を保存する場合には、編集ボタンを押 してください。

尚、編集はテキストファイルのみサポートしま す。

# 8-10. ソフトウェアライセンスの表示

WEB UI にて使用されているソフトウェアライセンス、使用許諾を表示できます。 表示箇所はシステム⇒ライセンスタブとなります。

OpenBlocks <sup>®</sup>	loT		ログイン ID: adm	in (種限: 制限無し) ;	マイページ ログアウト
ダッシュボード サービス	システム	ネットワーク	メンテナンス	拡張	技術情報
基本 詳細 ライセンス	パスワード	フィルター	SSHE	<b>₹</b> 1%-3	5
使用許諾					
道択	選択 選択 Ope acpi- acpi-	したものを表示しま したものを表示しま nBlocks -support-base	.इर्ग • .च		
.) 2015 PlatHome Co., Ltd. All rights re	addi apti apti apti base base base base base base base base	ude-common ude -files -passwd 9-host tils z mainutils tils		Ver	sion 1.0.5
	build busy bzip	l-essential /box 2	-		

本装置に使用されているソフトウェアライセ ンス、使用許諾をソフトウェア毎にプルダウン メニューから選んで表示できます。

オープンソースライセンスにおけるソースコ ードの公開は、当社 WEB サイトにて行ってお ります。

# 8-11. 本体シリアルの確認

WEB UI にて OpenBlocks IoT Family 本体のシリアル番号を確認できます。 確認箇所はシステム⇒S/N タブとなります。

シュポード サ・	ービス	システム	オットローク			
		-	49FJ-9	メンテナンス	拡張	技術情報
基本	詳細	パスワード	マイルター	- SSH關連	マイページ	
ファイル管理	ライセンス	S/N				
S/N						
本体シリアル番	畤					
FFFFFFFFFFFFFFFF						
					Versio	on 1.0.6

※左図で表示されているシリアルはサンプル です。

# 8-12. ダイナミック DNS

WEB UI にてダイナミック DNS サーバに対して、現状の IP アドレスを定期的に登録します。

設定箇所はネットワーク⇒ダイナミック DNS タブとなります。

ュポード サービス	システム ネットワーク メンテナンス 拡張 技術情報
基本 ダイナミックDM	IS ルーティング 遠信確認 状態
ダイナミックDNS(?)	
使用設定	● 使用する ◎ 使用しない
DDNSサービス	(mydns.jp 🔻
ユーザ名	
パスワード	
完全修飾ドメイン名	
登録IP情報 (?)	● グローバリルP ◎ プライベートIP
操作	

### <u>ダイナミック DNS</u>

### 使用設定:

ダイナミック DNS を使う時に「使用する」を 選択します。

DDNS サービス :

DDNS サービスを選択します。

(一覧にあるのはフリーの DDNS です。尚、
 Plat DNS はサービス展開前の為、使用不可となります)

#### ユーザ名:

DDNS のユーザアカウントを入力します。

パスワード :

DDNS のパスワードを入力します。

#### 完全修飾ドメイン名:

**DDNS**上に登録された FQDN を入力します。 尚、Plat'DNS を選択した場合、本項目は非表 示になります。

### 登録 IP 情報:

**DDNS**上に通知する IPアドレスの属性を設定 します。

設定が完了したら「保存」ボタンを押します。設定内容を反映させるには装置の再起動が 必要です。

# 8-13. 静的ルーティングの追加

AP モード時などのルータ動作時に静的ルーティングの設定が必要な時ここで設定します。 設定箇所はネットワーク⇒ルーティングタブとなります。

OpenBlocks®	loT		ログイン	ID: admin (種間: 刺隠無し) <u>マイページ</u> ログ
パシュポード サービス	システム ネット	ワーク メンテナンス	拡張	技術情報
基本 ダイナミックロ	NA ルーティング	通信確認 状態		
静的ルーティングが必要な場合は	、ここで設定を行います。			
接続先とゲートウェイ				
ネットワークアドレス		0.0.00		
ゲートウエイ				
操作				
保存)クリア)				
一覧				
ネットワークアドレス	ネットマスク	ゲートウェイ	操作	

ネットワークアドレスとネットマスクを指定 し、ゲートウェイとなる装置の IP アドレスを 指定し保存ボタンを押します。 静的ルーティングは複数登録が出来ます。

設定内容を反映させるには装置の再起動が必要です。

# 8-14. 通信確認

ネットワークが使えているか ping コマンドなどでテストできます。 テスト箇所はネットワーク⇒疎通確認タブとなります。

೬ュポ−ド サ	ナービス	システム	ネットワーク	メンテナンス	拡張	技術情報	
基本	ダイナミックD	INS ルーティ	<b>ング</b> 通信語	確認 状態			
通信確認							
通信確認				美行)			
<ul><li>通信確認</li><li>宛先ホスト</li><li>コマンド</li></ul>			ping 🔻	東行)			
通信確認 売先ホスト コマンド			ping V	美行)			

使用するコマンドはプルダウンメニューで ping / traceroute / nslookup から選択できま す。

コマンドを選択し実行ボタンを押すと下部に 実行結果が即表示されます。

### 8-15. ネットワーク状態確認

ネットワークの様々な状態を確認できます。 確認箇所はネットワーク⇒状態タブとなります。

DpenBlocks® loT	ログイン ID: admin (構築: 制隊無し) <u>マイページ ログアウト</u>	本装置の設定を一通り終わり、再起動した後に
ッシュ <b>ボード サービス システム</b> ネットワーク	メンテナンス 拡張 技術情報	この画面で確認する事をお奨めします。
基本 タイナミックロト3 ルーティング 道伝務部	状態	
状態		また、以下の項目を確認できます。
ip addr show up 1: lo: <loopback.up.lower_up> mtu 65536 qdisc noqueue state U Link/loceback 00:00:00:00:00:00 bd 00:00:00:00:00:00:00</loopback.up.lower_up>	KNOW	• IP アドレス
inet 127.0.4.1/8 scope host lo valid (Hf foreer preferred_Hf forever inet): 17128 scope host valid (Hf forever preferred_Hf forever 5: tHis/GRBACAST_MLTCAST_UP_LOTEV_UP host 1500 edisc pfi link/ether 342:0541102102 bod fffffffffffffff inet 172:15.7.223/42 brd 172:16.7.255 scope clobal eth0 valid (Hf forever preferred_Hf forever	o_fast state UP qien 1000	・ルーティング情報
<pre>inst6 fe80c:1882d:34ffff010:2102/04 scope link valid ift forever preferred ift forever 7: wland: c8R0ADCAST, MULTICAST, UP, LOMER_UP) atu 1500 qdisc pf link/sther 80:05:08:08:423 b nd fffffffffffff inet 192,188,254,254/24 brd 192,188,254,255 scope global</pre>	fo_fast state UP glen 1000 /lan0	・arp 情報
valid_ift forever preferred_ift forever inet6 fe00::s20e:86ff:fe00:4c30e64 scope link valid_ift forever preferred_ift forever netstat-nr		・ホスト情報
Kernel IP routing table         Germask         Flags         MSS W           Destination         Gateway         Germask         Flags         MSS W           0.0.0.0         172.16.7.1         0.0.0.0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         172.16.7.0         0.0.0.0         255.255.25.0         0	ndow irtt lface 0 eth0 0 eth0 0 vian0	・DNS サーバ情報
arp -an ? (172.16.7.164) at do:fb:02:09:07:58 [ether] on eth0		・モデム情報
? (1/2.18./.208) at bc:bt:14:/2:88:86 [ether] on eth0 ? (172.18.7.1) at 00:a0:de:65:73:41 [ether] on eth0 /etc/hosts		・SIM 情報
Host Database This file should scottain the addresses and allases the should scottain the sine. It is used only for "froots" and other coerations before the nameserver is started.		
i:1 localhost 127.0.0.1 localhost 127.0.0.1 obsiot.example.org obsiot		
/etc/resolv.conf		

# 8-16. コンフィグレーションのバックアップとリストア

WEB UI にて設定したコンフィグレーションを WEB クライアントに対してバックアップ を行えます。また、そのファイルを用いてリストアが実施できます。 実行箇所はメンテナンス⇒設定タブとなります。

<b>OpenBlocks</b> ®	loT	ログイン ID: admin (情想: 制限集し) <u>マイページ ログアウト</u>
ダッシュボード サービス	<b>システム ネットワーク</b> メンテナンス	<b>拡張 技術情報</b>
設定 システムの更新	令 停止 · 再起動	
設定情報		
エクスポート (2)	実行	
インボート (2)	ファイルを選択 違択されていません	実行
		Version 1.0.5
(C) 2015 PlatHome Co., Ltd. All rights res	erved.	

エクスポートの実行ボタンを押すと、コンフィ グレーションファイルのバックアップを WEB クライアントにダウンロードします。 設定をリストアする時には、インポートのファ イル選択で、バックアップファイルを選び、実 行ボタンを押すとコンフィグレーションファ イルをもとにリストアされます。

※本装置のシステムセットアップが完了した際、設定を変更した際は都度バックアップの 実行を推奨します。

※コンフィグレーションファイルの編集は原則サポートいたしません。

※コンフィグレーションファイルのインポートにおいて、以下の置換ルールが適用されます。

置換元文字列	置換内容	備考
@@SERIAL@@	本体シリアル番号	

### 8-17. システムソフトウェアのアップデート

本装置のファームウェアや OS、アプリケーションのバージョンアップを確認し、アップデ ートできます。

実行箇所はメンテナンス⇒システム更新タブとなります。

		ネットワーク	メンテナンス	拡張	技術情報	
設定 システ	ムの更新 停止・再	起動				
アップデート						
オンライン		確認結果) 更新有無	を確認)			
オフライン		ファイルを選択 選択	されていません	実行		
					Version	1.0.5

本装置がインターネット接続環境にある場合 はオンラインアップデートが可能です。 オンラインにある「更新有無を確認」を押すと リポジトリ情報に基づいてアップデート内容 を確認し、更新があれば本画面の下部にそれぞ れのアップデート内容が表示されるので、更新 する場合はアップデートを実行してください。

尚、オフラインパッケージはインパクトあるア ップデート時に弊社から提供するパッケージ です。

WEB クライアント(ファイルサイズ上、PC を 推奨)にダウンロードして、オフラインにある 「ファイルを選択」ボタンで PC 上にあるアッ プデートパッケージを選んで実行ボタンを押 します。

セキュリティのアップデートは頻繁にあるので、なるべくマメにアップデートを行うことを推奨します。

また、適用パッケージによっては再起動後にアップデートが反映されるものが多数ありま すので、アップデート後は本体再起動の実施を強く推奨いたします。

# 8-18. EnOcean デバイスの登録

EnOcean モジュールを搭載した OpenBlocks IoT Family を用いて、データ収集ツール機能 を有効及び使用モジュール欄を"EnOcean"を選択した場合、EnOcean 登録タブが表示され ます。

EnOcean 登録タブから EnOcean デバイスの登録が行えます。

			ロクイン ID: admin (様泪: ス-	-バーユーザー) <u>マイベー</u>
1 <b>ポード</b> サービ	ک <mark>ر کر ک</mark>	ネットワーク メンテナ:	ンス 拡張	AirManage
-				
414	GRIEZE AGRUP	O I BODE I	の福葉(のビスシア)	
状態 EnC	Dcean登録			
EnOcean登録(?)				
デバイスID				
ユーザーメモ				
EEP(機器情報プロフ	マイル)			
操作				
登録/更新) クリア	7			
EnOcean一括登録	1			
エクスポート (2)	I	HT)		
インポート (2)	Cho	oose File No file chosen	実行)	
一覧		ユーザーメモ	操作	
一 <b>覧</b> デバイス番号	デバイスID			

### <u>EnOcean 登録</u>

### デバイス 🎞 :

データ収集対象の EnOcean デバイスのデバイ ス ID を設定します。

ユーザーメモ:

EnOcean デバイス自体への情報を設定できます。

### EEP(機器情報プロファイル):

対象デバイスの EEP(機器情報プロファイル) を設定できます。

### <u>EnOcean 一括登録</u>

エクスポート:

実行ボタンを押すと登録済みの EnOcean デバ イス一覧を json ファイルにてダウンロードし ます。

### インポート :

フォーマットにのっとった json ファイルを選 択しインポートすることで、EnOcean デバイ スデバイスを一括で登録できます。

EnOcean 登録部の入力が完了したら「登録/更新」ボタンを押します。

登録したデバイスの情報を変更する場合には、一覧の対象デバイスの編集ボタンを選択し てください。

尚、別のデバイス ID へ変更した場合には新規登録扱いとなります。

# 8-19. SMS 送信

本装置は一部のモバイル回線モデムモジュールにて SMS をサポートしています。 (モバイル回線契約に SMS 機能が無い場合、サポートできません。また、本装置に SIM が 挿入されている必要があります。)

これにより、SMSをWEBUI上から送信することが可能となっております。

OpenBlocks <sup>®</sup> IoT	ログインID: admin (梅語: 利務無し) <u>マイページ</u> <u>ログアウト</u>	<u>SMS 送信</u>
グッシュボード サービス システム ネットワーク メンテナンス 拡張	技術情報	電話番号:
SMSHT		SMS 送信先の電話番号を入力します。
- 3m3点 B 宛光電話書号 本文		本文:
操作		送信する SMS の本文を入力します。
送信才多		尚、本文には最大 70 文字まで入力可能です。
(C) 2015 - 2016 Plaff-lome Co., Ltd. All rights reserved.	Version 1.0.8-0-dev23	

電話番号及び本文を入力し、「送信する」ボタンを押すことにより SMS が送信されます。

### 8-20. SSH トンネル

SSH サーバに対して SSH 接続を行い、トンネルを構築します。これにより、SSH サーバ からトンネル経由にて Openblocks IoT Family 側へSSH アクセスを行うことが可能となり ます。

※本機能を使用する場合には、「7-5. フィルター許可」にて SSH のフィルターを許可して おく必要があります。

nenBlocks®	Т	
penBlocks®	<b>I</b> JT <sup>11</sup> <sup>11</sup> <sup>11</sup> <sup>11</sup>	admin (権限: スーパーユーザー) <u>マイベ</u>
penBlocks®	してい ログイン ロックション ログイン ロックション マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マ	admin (補用: スーパーユーザー) <u>マイペ</u> 技巧信号
penBlocks®	874/0 875/2 8/19/2 888	admin (相限 スーパーユーザー) <u>マイベ</u>
penBlocks® २३४-२ १-८२ २२४३ को जरभद्रा	DT D700 シスタム キルワーク シグチンス XX株 MALECT 201 (19) MALECT (2010) (201	admin 補銀 スーパーユーザー) <u>マイベ</u> 技術信号
epenBlocks®	DT D70/0 273ム キットフーク シンチナンス 松浜 (MALST-/ FR) PD SAGREEM (SSH)ンキル	admin /編建: スーパーユーザー) <u>マイイ</u> 共和行法制
2000日日 2010日日 55Hトンネル (2)	B7-67-0 2.33ム マルワーク シングナンス 記録 AUGHT、ア (F/T) PO Guterroot Gode Rod SSHF)ンネル	admin <b>相訳</b> スーパーユーザー) <u>マイイ</u> 共好[注目
<b>penBlocks®</b> () (2まやアー・サービス () (明報空 () (明報空	DT 2/33ム キバワーク バガナンス 私法 100 コン (107) PO Bulanciano Codo pui) SSHトンネル そのコン (107) PO Bulanciano Codo pui) SSHトンネル	acon (観察 スーパーユーザー) <u>マイイ</u> 並ぶ7680
PenBlocks®     ()         ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	B74200 27月2 - 27月7-27 25月7-27 25月 27月2 - 27月7-27 25月 27月2 - 27月7-27 25月 - 25月7-50 (2月),久山、 - 25月7-50 (2月), - 2517-50 (2月), - 25	aann 備藤 スーパーユーザー) <u>マイイ</u> 共同で後期
Compare Service 2019     Compare 2019	رویک رویک	adom 補肥 スーパーユーザー) <u>マイイ</u> 共同学科
PeenBlocks®	DT	adom (新聞: スーパーユーザー) <u>マイイ</u> 第1377年前
penBlocks®         ()         ()         ()	DT 273ム キットワーク シグデナンス 松浦 1015ビード P1 0000000 000000 55Hドンネル * 使用する (使用人ない) * 常和細胞() 5HSSエントロールイベント	ason 御御 スーパーユーザー) <u>マイイ</u> 豊好(計画
Control Electric S     Control Electric S     Control Electric S     SSH1ンスル(こ)     C研究     Control Electric S     SSH1ンスル(こ)     Control Electric S     SSH1公和人工     SSH1編成九本     SSH1	русо 2292 8-19-2 2093/2 XX 2019 -	adom <b>尚部</b> スーパーユーザー) <u>マイイ</u> 技巧で最終
Control (1995)     Contro	D7210     D721     D72	adom 備第 スーパーユーザー) <u>マイイ</u> 民政(計画
Control	D70 8     2010 - 2      2017 2     2017 - 2     2017 2     2017 - 2     2017 2      2017 2     2017 2      2017 2	adom 御御 スーパーユーザー) <u>マイイ</u> 共同学科

#### <u>SSH トンネル</u>

#### 使用設定:

本機能を使用するか設定します。使用する場合 には「使用する」を選択してください。

SSH トンネルモード:

SSH トンネルを構築するモードを設定しま す。

"常時接続"にした場合、稼働中は常にSSHト ンネルの構築を試みます。

"SMS コントロールイベント"に設定した場合、SMS または SMS コントロールダイレクト実行により SSHトンネルが構築されます。
※SMS の場合、最長 30 分間 SSH トンネルが
構築されます。

### ログインユーザー :

SSH サーバにてログインするユーザーを指定 します。

#### SSH 接続先ホスト:

接続先の SSH サーバの IP アドレスや FQDN を設定します。

#### SSH 接続先ポート:

接続先の SSH サーバのポート番号を設定しま す。通常は 22 番となります。

### **SSH** 折返用ポート:

SSH サーバにて接続元の本機器へアクセスす る為のポート番号を設定します。

SSH 認証設定:

SSH サーバへ接続する際の認証方式を設定し ます。 パスワード: 認証方式がパスワード認証の場合のパスワー ドを入力します。 パスフレーズ: 認証方式が鍵認証の場合、パスフレーズを入力 します。 プライベートキーファイル: 認証方式が鍵認証の場合、プライベートキーフ ァイルパスを入力します。

※鍵認証におけるプライベートキーファイルはファイル管理からアップロードしてください。

設定完了後、保存ボタンを押してください。また、再起動することにより本機能は有効と なります。

# 8-21. サポート情報

サービスに関するサポート窓口情報に関して、メンテナンス⇒サポートタブにて確認が行 えます。

ュポード サービス	システム ネットワーク メンテナンス 拡張 技術情報
設定 システム	の更新 停止・再起動 サポート
8011 A to 11 #	
問い合わせ先	
対応時間	月~金曜日 9:30-18:00 ※祝祭日・年末年始・当社休業日を除く
TEL	03-5213-4372
FAX	03-3221-0882
	support@plathome.co.ip
E-Mail	
E-Mail ログ・環境情報取得	
E-Mail ログ・環境情報取得 ダウンロード	(奥行)

※サンプル画像となります。

連絡先等の変更の恐れがあります。最新の情報はWEB UI にて確認を行ってください。

# 8-22. OpenBlocks の Support サイト



本装置がインターネット接続環境にある時は、 「技術情報」タブをクリックすると当社 OpenBlocksのSupport ページをWEBブラウ ザ上に表示します。

このサイトには、アップデート情報や FAQ な どの情報が公開されています。

より快適な運用のために、本サイトをご利用く ださい。

# 8-23. Node-RED の使用

				H 9 (19 10) 40		
				パンテナンス	拉張	AirManage
<b>去</b> 非冠						
スクリプト編集	コマンド実行	SMS	·実行 SMS送信	PD Subscribe	Node-RED	
SSHトンネル	監視					
ログ						
미년 Node-RED	(2)	(	警視したものを表示しま	' <b>डे</b> ▼		
ログ Node-RED 使用設定	(2)	6	驚択したものを表示しま ● 使用する ◎ 使用した	डे <b>▼</b>		
ログ Node-RED 使用設定 ポート番号	(2)		警択したものを表示しま 9 使用する ◎ 使用しな 880	डॉ <b>▼</b> स्था		
ログ Node-RED 使用設定 ボート番号 ログイン20話話	(2)		審択したもの/を表示しま ) 使用する ◎ 使用しな 880 ) 使用する ◎ 使用しな	उ <b>र</b> त।		
ログ Node-RED 使用設定 ポート番号 ログイン認証 ユーザー名	(2) R定		縦帜したものを表示しま ○ 使用する ○ 使用しな 880 ○ 使用する ○ 使用しな	<b>عَ •</b>		
ログ Node-RED 使用設定 ボート番号 ログイン2033 ユーザー名 バスワード	( <u>2</u> ) 我定		案択したものを表示しま ● 使用する ◎ 使用しな 880 ● 使用する ◎ 使用しな	<b>σ</b> •		
ログ Node-RED 使用設定 ボート番号 ログイン犯証証 ユーザー名 バスワード <b>操作</b>	(2) 教室		審讯したものを表示しま 使用する ◎ 使用しる 880 使用する ◎ 使用しな	<del>ع •</del>		
ログ Node-RED 使用設定 ボート番号 ログイン初語 ユーザー名 パスワード <b>操作</b>	(2) 按定		審讯したものを表示しま 使用する ◎ 使用しる 880 (使用する ◎ 使用しな	ع•• α، 		

本装置には Node-RED をインストールしてい ます。Node-RED を使用する場合には、"使用 する"に設定し保存ボタンを押してください。 また、ログイン認証を使用する場合には"使用 する"を選択し、ユーザー名及びパスワードを 設定し保存ボタンを押してください。 また、リンクボタンを押すことで Node-RED

また、リンクホタンを押すことで Node-RED のタブを新規生成します。

尚、Node-RED の GUI を使用する場合には「シ ステム」の「フィルター」 タブからフィルタの 開放をしてください。

また「エクスポート」ボタンにより Node-RED の稼働状態のバックアップが取得できます。

# 8-24. FUNC スイッチの機能割当

		1042 (C State (BBR (X-7-2-9-))
ポード サービス システ	ネットワーク メンテナンス 拡張	技術情報
		<
71 (27) am		
機能利用(2)		
サービス機能	◎ 無効 ⑧ 有効	
能張樹能	◎ 無効 ⑧ 有効	
機能割り当て(?)		
継続割り当て	(割り当でal ・	
プロセス状況表示(ユーザー定義)	割り当でなし WPS_PCB機能 ユーザー定義(Button)	
プロセス状況表示複雑(ユーザー定義)	● 無効 ◎ 有効	
ストレ ージ管理(メール 通知)		
セルフチェック	● 無効 ◎ 有効	
<b>操作</b>		

「システム」の「詳細」タブにて FUNC スイ ッチに対して機能が割り当てできます。以下の 機能を設定可能です。

- ・割り当てなし
- ・WPS\_PCB 機能
- ・ユーザー定義(Button)

WLAN を AP モードにしている場合にし、 WPS 機能が使用できる状態に設定した場合、 WPS\_PCB 機能が有効となります。 また、ユーザー定義(Button)は拡張機能のスク リプト編集にて、対象のスクリプトを作成して いる場合に機能が有効となります。

### 8-24. 監視機能

OpenBlocks IoT Family 内のログファイルや稼働プロセスの監視を行えます。 ログファイル監視は特定キーワードが出力された場合にアテンション喚起状態となります。 また、プロセス監視は設定したプロセスが稼働していない場合にアテンション喚起状態と なります。尚、対象プロセスの未稼働状態でアテンション喚起状態となったプロセスは監 視対象外となります。

アテンション喚起状態のリセットはダッシュボードから実施可能です。

また、本機能は AirManage 機能と連動しており、AirManage 機能を有効にしている場合 には AirManage リモート管理サーバ側にてアテンション情報の確認することが出来ます。

		H7 15		T 2 82
ボード サービス シス	ミテム ネットワーク メンテナン	2 拉張	AirManage	技術情報
クリナ振業 コマンド支行 SH	MSコマンド東if PD Subscriber Not	de-RED SSHIT;	ノネル	
監視				
監視 (?)				
使用設定	◎ 使用する ● 使用しない			
操作				
保存				
			Version 2.1.0dev 170	125
oenBlocks® lo		미グ-fン ID: admin (	編録: スーパーユーザー) <i>マ</i>	<u>48-2 D</u>
oenBlocks® <b>lo</b> ≭-₹ <del>७-८</del> २ २७	<b>T</b> 1754 - ФАРФ- Ф. 2077-2	ログイン ID: edmin ( ス. 拡張	線: スーパーユーザー) 文 AirManage	<u>イページ ログ</u> 技術情
oenBlocks® ति सन्म पन्धत्र २७ मालस्म	】 25ム キットワーク シンデナン 265577 / 2017 (170 Subserver) へんゆ	ログイン ID: edmin ( ス 協議 de-RED SSH)	線: スーパーユーザー) 文 AirManage バスル	<u>イページ ログ</u> 技術情
DenBlocks®し (ボード サービス シン 入り日間 監決 監決 監決	T 1954 Avt 9-2 SCIPT Maurit Hart (Ma	ログイン ID. admin ス 投稿 de-RED SSIII-	線: スーパーユーザー) ヹ ArrManago	イページ ログ 技術情
SeenBlocks®して           ボード         サービス         22           スシスト編集         ロズスを取り         回           監視             監視(2)             使用設定	】	ログイン ID. edmin ( ス 投資表 de. NED SSI(4):	線: スーパーユーザー)文 ArManago	<u>イベージ</u> ログ 技術情
oenBlocks <sup>®</sup> ボード サービス 22 にすり (数) を取り を取り を取り を取り のでの のの のの のの のの のの のの のの のの の	です。 またりつう の方けン 林にマードボー P10 Subsection Res ● 使用する © 使用.ない ● の日 10 の 日 10 の	ログイン ID: admin ( ス 投送系 der REC) (SSII)	WR スーパーユーザー) 文 ArrManago	<u>イページ ログ</u> 技術情
Con Blocks <sup>®</sup> Co     ボード サービス 20     Con 40     Con 40	】 (なん そットワーク SCデオン (本) (日 Subserie) (日) ● 使用する ○ 使用.たい ● 使用する ○ 使用.たい	ログイン ID: admin ( ス 起3系 ane REC) SSIII:	線t スーパーユーザー)文 ArtManago	<u>イページ ロウ</u> 技術情
Company Series (1)     Company Series	】 オジム キシトワーク メンデオン 林二マンマス朝 作り Subtorito (14) ● 使用する◎ 使用しない ● 使用する◎ 使用しない ■ 使用する◎ 使用しない ■ 使用する◎ 使用しない ■ 使用する◎ 使用しない	ログイン ID: edmin ( ス 拡張 see.RED SSNI):	線 スーパーユーザー) 文 Airtianage	<u>イベージ ログ</u> 技術情
Company Section		ログイン ID: admin ス 協議 See NEC) 起話(6)	線: スーパーユーザー) ア <u>AirManago</u>	<u>イページ ログ</u> 技術情

操作 保存 監視機能を有効にする場合、使用設定を「使用 する」を選択します。

ログ監視機能を有効にする場合には、ログ監視 部の使用設定を「使用する」を選択します。

また、プロセス監視を有効にする場合には、プ ロセス監視部の使用設定を「使用する」を選択 します。

Version 2.1.0dev\_170125

OpenB	locks®	loT			ログイン ID: admin (権	課: スーパーユーザー) 3	<u>44-9 D775</u>
ダッシュボード	サービス	システム	ネットワーク	メンテナンス	拡張	AirManage	技術情報
	and the state of	A110	Indelia PD Dubara	ikan Alada P			
監視		omo_14_	VI 9611 THO GUIDEN	idei Noue-A	EU Soni-J		
監視 (?)							
使用設定			● 使用する ◎ 使用し	ない			
ログ監視							
使用設定			● 使用する ◎ 使用し	ない			
ログ監視設定	iêhn)		ログファイルパス アラート対象文字列	(var/log/messag	es		
			<ul> <li>ログファイルパス</li> <li>アラート対象文字列</li> <li>削除 )</li> </ul>				
プロセス監視							
使用設定			◎ 使用する ◉ 使用し	50. Y			
操作							
保存							
					V	ersion 2.1.0dev_170	0125

### ログ監視

使用設定:

ログ監視機能を有効にする場合には、ログ監視 部の使用設定を「使用する」を選択します。使 用しない場合は「使用しない」を選択します。 ログ監視設定:

追加ボタンにて監視設定の項目を追加するこ とが出来ます。(最大8個までとなります)

### ログファイルパス:

監視対象とするログのファイルパスを設定し ます。

(ex. /var/log/messages)

### アラート対象文字列:

アラート(アテンション)として扱う文字列を 設定します。

複数の条件を設定する場合、"|"にて区切るこ とで設定可能となります。 (ex. error | ERROR)

### プロセス監視

### 使用設定:

プロセス監視機能を有効にする場合には、プロ セス監視部の使用設定を「使用する」を選択し ます。使用しない場合は「使用しない」を選択 します。

### プロセス監視設定:

追加ボタンにて監視設定の項目を追加するこ とが出来ます。(最大8個までとなります)

### 監視プロセス:

監視対象とするプロセスを設定します。 正確にチェックする場合には、パスを含んだ状 態で設定することを推奨します。

設定完了後、「保存」ボタンを押すことで監視設定が完了となります。 また、「保存」ボタンを押した場合には既にアテンション喚起状態となっていた場合には、 解除されます。

	207=0 +tobb	1+26	Aintennen t
14-F 9-EX	9774 <del>-</del> 989-9 90	105H	AirManage
	CLIC	Node BED SPUL <sup>5</sup> († 1).	
	GWG_14 21 3611 LID GUBCHDEL	NODE-RED San ( 24/)/	
監視			
監視(?)			
使用設定	● 使用する <sup>●</sup> 使用 <i>tu</i> )		
C1/5#528	- 6/17 - 6/16/64		
使用設定	◎ 使用する ® 使用しない		
プロセス監視			
使用設定	● 使用する ● 使用しない		
プロセス監視対象 通加	監視プロセス		
操作			
保存			
			Version 2.1.0

また、アテンション状態はダッシュボードで確認が行えます。

### ●アテンション未発生の場合

▲ボード サービス シ		拡張	AirManage	技術情報
システム全体の概要更新	<del>1</del>			
ハードウェアリソース				
メインメモリ:502 MB / 889 MB ストレージ:913 MB / 5273 MB				
ネットワーク (設定)				
FQDN : obsiot.example.org ゲートウェイ : 172.16.7.1 IPアドレス (wlan0) : 192.168.254.2 IPアドレス (eth0) : 172.16.7.227	:54			
監視				
	++ 4			

●アテンション喚起状態の場合

コポード サービス	システム	ネットワーク	メンテナンス	拡張	AirManage	技術情報
	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			10000		
視条件に一致するエラーが発	注しています。					
シュフテレ会体の運動	「百新」					
ノス) ム主体() 64.3	=					
ハードウェアリソース						
メインメモリ:502 MB/889	мв					
ストレージ: 913 MB / 5273	MB					
ネットワ <i>ーク (</i> 設定)						
FQDN : obsiot.example.or	g					
ゲートウェイ: 172.16.7.1	9 254 254					
IPアドレス (eth0): 172.16.	7.227					
監視 エラー解除 )						
lan 20 17:05:51 abaiat ra		DDUD				
an au 17.00.01 005100 10	DC. 1201 DEDUG E	nnun				

エラー解除ボタンを押すことにより、アテンション喚起状態を解除できます。 また、アテンション喚起のログが一定行以上となった場合、全件表示ボタンが表示されま す。そのボタンを押すことにより、設定している監視状態のログが確認できます。

# 8-25. URI プロキシ機能

**OpenBlocks IoT Family** 内の WEB プロセスエンジン機能により、WEB UI 経由にて自ホ ストまたは他ホストの WEB ヘアクセス可能です。

本機能を設定することにより、WEB UI のポートのみで自ホストや別ホストの WEB プロ セスヘアクセスできますので、セキュリティ観点上本機能の使用を推奨します。

また本体内で稼働している及び稼働可能な WEB プロセス等については 9-6. 使用ポートー 覧を参照して下さい。

「拡張」の「URI プロキシ」 タブにて WEB UI 経由にてアクセスしたい WEB サービスを設 定します。

### URI :

ユニークな URI を設定してください。

※英数字のみサポートしております。

Ex.) Node-RED の例:nodered

### IP:

アクセスしたい WEB サービスが稼働してい る自ホストまたは他ホストを IPv4 形式の IP アドレスで指定してください。

Ex.) Node-RED の例:127.0.0.1

### PORT :

アクセスしたい WEB サービスが稼働してい る PORT 番号を設定してください。 Ex.) Node-RED のデフォルト例:1880

また、本機能で参照する WEB サービスのプロトコルが異なる場合、アクセス可否が異なり ます。以下の表をご確認ください。

WEB UI	参照 WEB サービス	アクセス可否
アクセスプロトコル	プロトコル	
HTTP	HTTP	可能
HTTP	HTTPS	不可
HTTPS	HTTP	可能
HTTPS	HTTPS	可能

# 8-26. WEB コンソール機能

OpenBlocks IoT Family 内に shell in a box が起動しています。このプロセスは WEB ブラ ウザ経由でコンソール機能が使用可能となります。本機能では 4200 番ポートを使用してお ります。セキュリティの関係上、本ポートをデフォルトで開放する機能は用意しておりま せん。そのため、URI プロキシ機能を用いてアクセスを行ってください。 ※HTTPS 経由でのアクセスのみ対応しています。



左図は対象の画面となります。

本機能向けに sudo 機能をすべて有効にしてい るアカウントを用意しております。尚、root アカウントでのログインは行えません。

 $\mathrm{AC}: \mathrm{obsroot}$ 

PW:0BSI0T ※0 は数字の0です。

※パスワードはクラックされる恐れがありますので、passwd コマンドにて変更してください。

# 8-27. PLC デバイス管理

データ収集の PLC 取得数を設定した場合、内部的にデバイス情報を保持します。 不要となったデバイス等は「サービス」の「PLC」タブから削除が行えます。

репроска	ΙοΤ		ログイン ID: admin (権限:	スーパーユーザー) <u>マイベージ</u>
シュポード サービス	5776 Avt	マーク メンテナンス	据服 AirMan	age 技術情報
A* 69.32	収集ログ	ペイロード データ表示	unte alt	メンテナンス
V.B PLC				
PLC設定一覧				
デバイス番号	アドレス	ユーザーメモ	操作	
デバイス番号 device_plc_server_modbus	アドレス 127.0.0.1	ユーザーメモ	操作	
デバイス番号 device_plc_server_modbus device_plc_server_0000001	アドレス 127.0.0.1	ユーザーメモ	操作 削除 削除	
デバイス番号 device_pic_server_modbus device_pic_server_0000001 device_pic_server_0000002	アドレス 127.0.0.1	ユーザーメモ	操作 到建 到建	
デバイス番号 device_plc_server_modbus device_plc_server_0000001 device_plc_server_0000002 device_plc_server_0000003	アドレス 127.0.0.1	ユーザーメモ	操作 前陸 前陸 所陸 所陸	

「削除」ボタンを押すことにより、対象でデバ イスを削除が行えます。

尚、削除操作が行える対象は、設定しているデ バイス数より過剰な数となるデバイスとなり ます。

※"device\_plc\_server\_modbus"は削除が行え ません。

# 8-27. SYSLOG 転送機能

本製品内にて出力される全ての SYSLOG を外部の SYSLOG サーバへ転送が行えます。 「システム」→「SYSLOG 転送」タブから設定が行えます。

						ヴイン ID: admin (推取: スーパーユー	ザー) <u>マイベーシ</u> ログア
コポード サービス	システム	ネットワーク メ	ンテナンス	10.95	AirManage	技術情報	
8* III	1/32-	F 741/9-	SSHIE	71-	WEB2-	チー ファイル管理	
5.477.7 SYSLO	16-7 <b>6</b> 8						
31320	ontario ann						
SYSLOG転送							
転送機能		使用する ◎ 使用しない					
転送検艇 転送プロトコル		(使用する <sup>()</sup> 使用しない   TCP <sup>()</sup> UDP					
転送検紙 転送プロトコル 転送ホスト		使用する <sup>©</sup> 使用しない TCP <sup>©</sup> UDP 72.16.XX.XX	5				
転送検軽 転送プロトコル 転送ポスト 転送ポート	6	使用する ◎ 使用しない   TCP ◎ UDP   72.16.XX.XX   14					

### SYSLOG 転送

### 転送機能:

SYSLOG 転送の機能設定を行います。

転送を行う場合には、「使用する」を選択して ください。

#### 転送プロトコル:

SYSLOG 転送を行う際のプロトコルを「TCP」 または「UDP」から選択します。

#### 転送ホスト:

SYSLOG 転送先のホストを IP アドレスまた は FQDN 形式で設定します。

#### 転送ポート:

SYSLOG 転送先のポート番号を設定します。 通常は 514 から変更する必要はありません。

設定完了後に「保存」ボタンを押すことで、反映されます。

# 第9章 注意事項及び補足

### 9-1. OpenBlocks IoT VX1の電源について

本製品はACアダプタによる給電及びワイドレンジ電源入力以外での、電源運用は保障対象 外となります。そのため、使用電源についてご注意ください。

### 9-2. 自動再起動機能

本 WEB-UI はモバイル回線のモデムを制御しています。モバイル回線のモデムが不慮の復 旧不能状態に陥った場合、本体再起動が動作します。

# 9-3. LTE/3G モジュール(ソフトバンク)運用時のアクセス

LTE/3G モジュール(ソフトバンク)を運用している場合において、LTE 回線側にグローバル IP アドレスが付与される場合には、グローバル IP アドレスと以下のポート番号の関係から 各種サービスが使用できます。

※フィルター許可にて開放している必要がありますのでご注意ください。この場合、再起 動後も適用している必要があります。

※グローバル IP アドレスは DDNS サービスを用いることで容易に使用できます。

サービス種類	ポート番号	補足
SSH	50022	
WEB UI(HTTP アクセス)	50880	ブラウザでのアクセスとなります。
WEB UI(HTTPS アクセス)	54430	ブラウザでのアクセスとなります。
Node-RED	51880	ブラウザでのアクセスとなります。

### 9-4. WLAN 運用について

OpenBlocks IoT VX1 の 5GHz 帯の WLAN は 2.4GHz に比べ、AP モード時では出力や弱 くなります。また、クライアントモード時では一時的な切断等が発生することがあります が復旧いたします。

安定した WLAN 運用を行う場合には、2.4GHz 帯の使用を推奨いたします。

# 9-5. Factory Reset(工場出荷状態への切り替え)

OpenBlocks IoT VX1 では工場出荷状態データが本体内に含まれております。

ストレージ領域へパッケージの追加や重要データの削除等を実施してしまい、工場出荷状態に戻したい場合、GRUBメニューの「Factory Image」を選択することで工場出荷状態へ戻すことが出来ます。

工場出荷状態に戻した場合には、設定したデータ等は削除されますのでご注意ください。



また、他の OpenBlocks IoT Family につきましては、弊社製品ページをご確認ください。

# 9-6. 使用ポート一覧

WEB UI 込みでの OpenBlocks IoT Family では以下のポートを使用及び使用する可能性が あります。

サービス種類	ポート番号	補足
SSH	22	ポート番号変更可能。
DNS	53	
DHCP	67	
PLC	502	
WEB UI(HTTP アクセス)	880	
Node-RED	1880	ポート番号変更可能。
Shell in a box	4200	
WEB UI(HTTPS アクセス)	4430	

サービス種類	ポート番号	補足
COLL	<b>5</b> 0099	LTE/3G モジュール(ソフトバン
		ク) / WAN 側のみ
WED III(UTTD アカセフ)	<b>F</b> 0880	LTE/3G モジュール(ソフトバン
WEB UI(HTTP アクセス)	00880	ク) / WAN 側のみ
WED III(IITTDC マクカマ)	54420	LTE/3G モジュール(ソフトバン
WEBUI(HITPS / / EA)	04430	ク) / WAN 側のみ
N. L. DED	<b>×1</b> 000	LTE/3G モジュール(ソフトバン
Node-RED	51880	ク) / WAN 側のみ

OpenBlocks IoT Family向け WEB UI セットアップガイド

(2017/06/16 第6版)

ぷらっとホーム株式会社

〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-1-3 日本ビルディング九段別館 3F